

第2期糸満市
子ども・子育て支援事業計画の中間見直し



令和5年3月

糸 満 市



目 次

1. 事業計画の中間見直しについて	1
2. 児童人口の乖離状況	2
(1) 児童人口の乖離状況(市全体)	2
(2) 児童人口の乖離状況(圏域別)	5
3. 教育・保育の量の見込みと乖離状況	10
(1) 教育・保育の量の見込みと計画値の乖離状況(市全体)	10
(2) 教育・保育の量の見込みと計画値の乖離状況(圏域別)	13
4. 地域子ども・子育て支援事業(13事業)の量の見込みと計画値の状況	23
5. 新たな児童人口推計	27
(1) 就学前児童人口(市全体)	27
(2) 就学児童人口(市全体)	27
(3) 年齢区分別児童人口(市全体)	28
(4) 年齢区分別児童人口(中学校区別)	30
6. 教育・保育の量の見込み及び確保方策	40
(1) 教育・保育提供区域の設定について	40
(2) 各年度における教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保及び その実施時期	43
7. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策	47
(1) 利用者支援事業	47
(2) 地域子育て支援拠点事業	47
(3) 妊婦健康診査	48
(4) 乳児家庭全戸訪問事業	48
(5) 養育支援訪問事業	49
(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ)	49
(7) ファミリー・サポート・センター事業(就学児)	50
(8) 一時預かり事業	50
(9) 延長保育事業	51

(10) 病児・病後児保育事業	51
(11) 放課後児童健全育成事業	52
(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業	52
(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業	52
8. 次世代育成支援対策行動計画の見直し・追加	53
(1) 第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画の施策体系	53
(2) 次世代育成支援対策行動計画の見直し・追加箇所	54

1. 事業計画の中間見直しについて

子ども・子育て支援法の施行後、支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、認定区分に係る量の見込みと大きく乖離している場合には、「計画期間の中間年を目安として、必要な場合には、市町村子ども・子育て支援事業計画の見直しを行う」こととされています。

◆見直しの考え方

見直しの要否の基準（「支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、教育・保育の量の見込みと大きく乖離している場合」の解釈等）

基本指針においては、「法の施行後、支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、・・・当該認定区分に係る量の見込みと大きく乖離している場合には、適切な基盤整備を行うため、計画の見直しが必要となる。」としているところ、**4月1日時点の支給認定区分ごと（3号認定については、0歳児と1・2歳児ごと。以下同じ。）の子どもの実績値が、市町村計画における量の見込みよりも10%以上の乖離がある場合（実績値／量の見込み \leq 90%、110% \leq 実績値／量の見込みとなる場合）には、「支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、教育・保育の量の見込みと大きく乖離している場合」に該当し、原則として見直しが必要となる。**

また、10%以上の乖離がない場合についても、

- ① 平成29年度末以降も引き続き受け皿の整備を行わなければ、**待機児童等の発生が見込まれる場合** 又は、
- ② 既に市町村計画において年度ごとに設定した目標値を超えて整備を行った年度がある場合には、「大きく乖離している場合」に準じて、見直しを行うものとする。

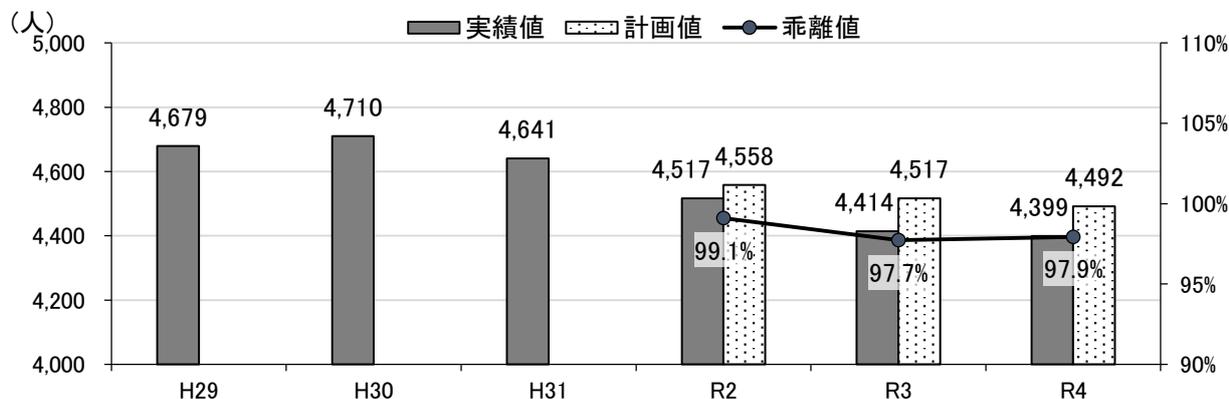
なお、形式的には上記の場合に該当するものの、既に計画を見直している場合など、特別の事情がある場合には、見直しを行わないこともできる。また、上記には該当しない場合であっても、各市町村の判断により、見直しを行うことは差し支えない（実績値 $>$ 量の見込みとなる場合には、見直しを行うことが望ましい）

2. 児童人口の乖離状況

(1) 児童人口の乖離状況(市全体)

①就学前児童(0-5歳)

就学前児童人口の推移をみると、計画値と実績値に大きな乖離はみられず、計画値と実績値の乖離率は最大で2.3%となっています。

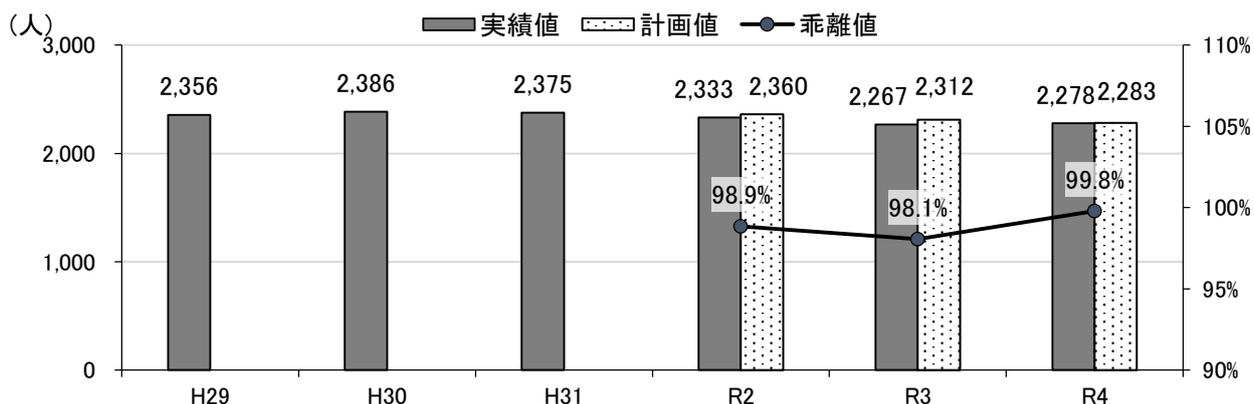


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	4,679	4,710	4,641	4,517	4,414	4,399
計画値	—	—	—	4,558	4,517	4,492
実績値/計画値	—	—	—	99.1%	97.7%	97.9%

各年4月1日現在

②就学前児童(3-5歳)

就学前児童人口(3-5歳)の推移をみると、計画値と実績値に大きな乖離はみられず、計画値と実績値の乖離率は最大で1.9%となっています。

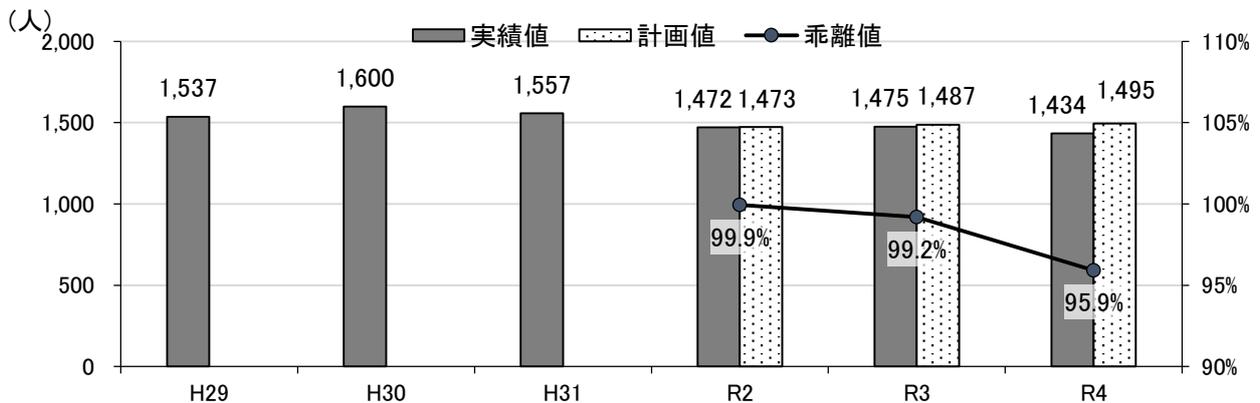


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	2,356	2,386	2,375	2,333	2,267	2,278
計画値	—	—	—	2,360	2,312	2,283
実績値/計画値	—	—	—	98.9%	98.1%	99.8%

各年4月1日現在

③就学前児童(1-2歳)

就学前児童人口(1-2歳)の推移をみると、計画値と実績値に大きな乖離はみられず、計画値と実績値の乖離率は最大で4.1%となっています。

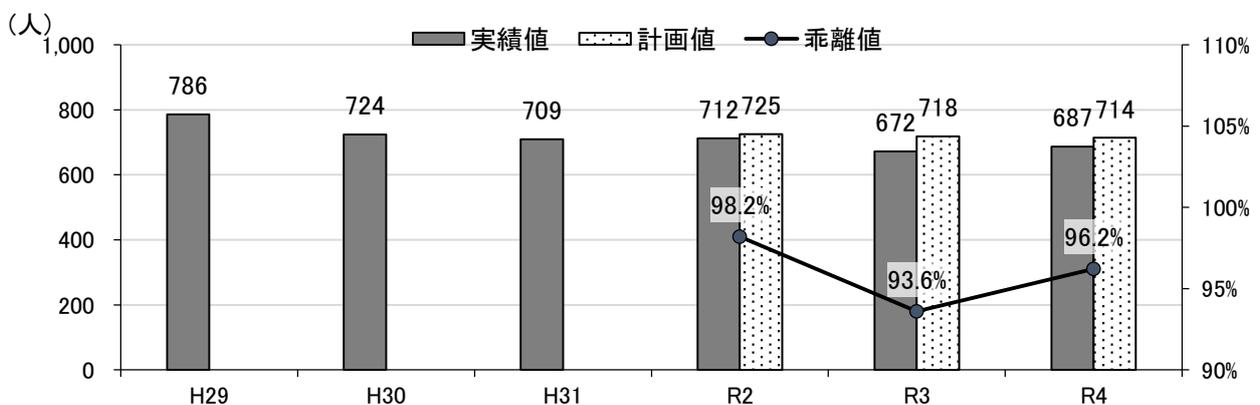


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	1,537	1,600	1,557	1,472	1,475	1,434
計画値	—	—	—	1,473	1,487	1,495
実績値/計画値	—	—	—	99.9%	99.2%	95.9%

各年4月1日現在

④就学前児童(0歳)

就学前児童人口(0歳)の推移をみると、計画値と実績値の乖離率は最大で6.4%となっています。

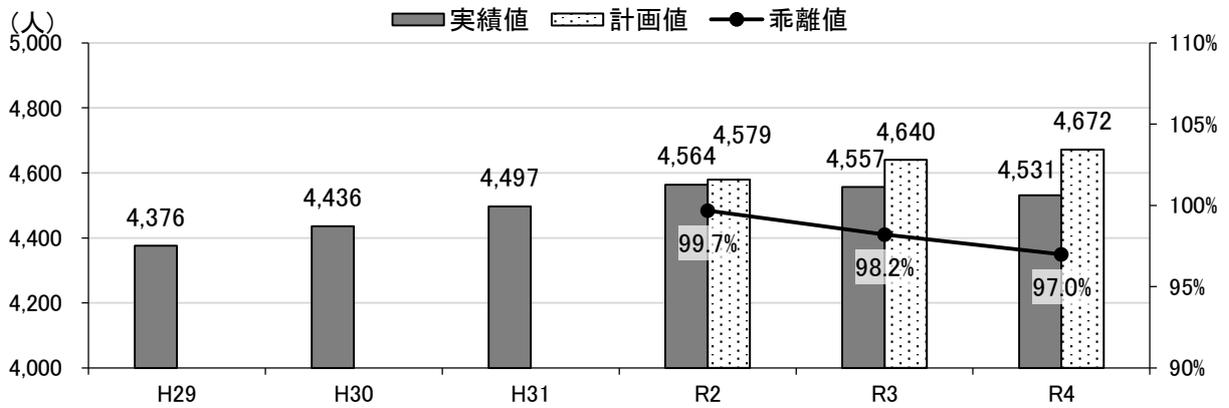


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	786	724	709	712	672	687
計画値	—	—	—	725	718	714
実績値/計画値	—	—	—	98.2%	93.6%	96.2%

各年4月1日現在

⑤就学児童(6-11歳)

就学児童人口の推移をみると、計画値と実績値に大きな乖離はみられず、計画値と実績値の乖離率は最大で3%となっています。



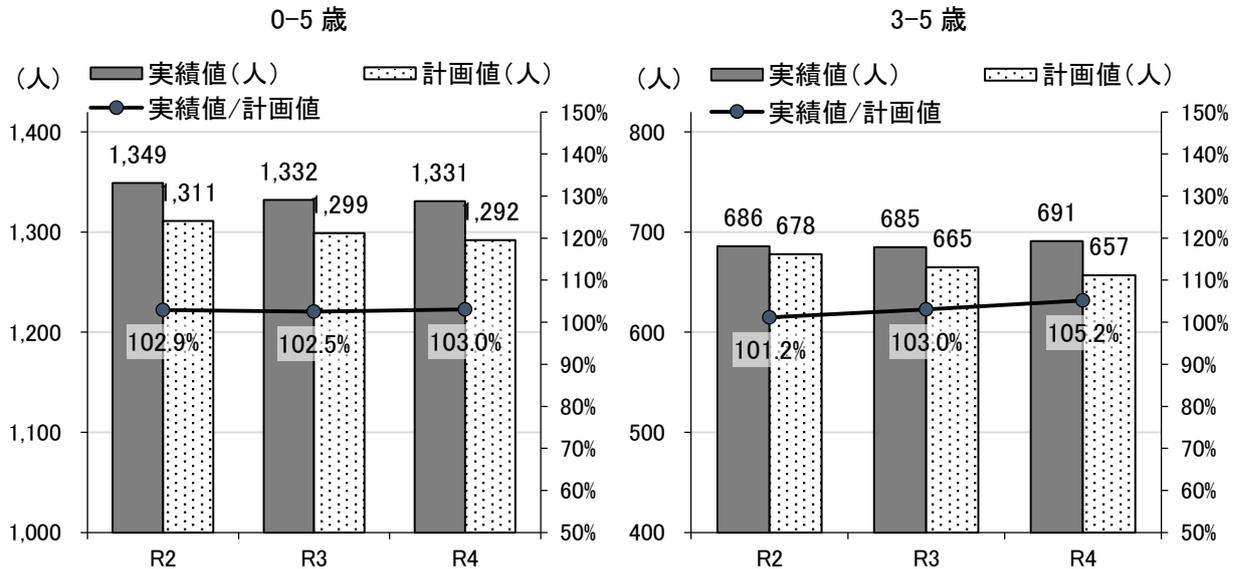
区 分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	4,376	4,436	4,497	4,564	4,557	4,531
計画値	—	—	—	4,579	4,640	4,672
実績値/計画値	—	—	—	99.7%	98.2%	97.0%

各年4月1日現在

(2) 児童人口の乖離状況(圏域別)

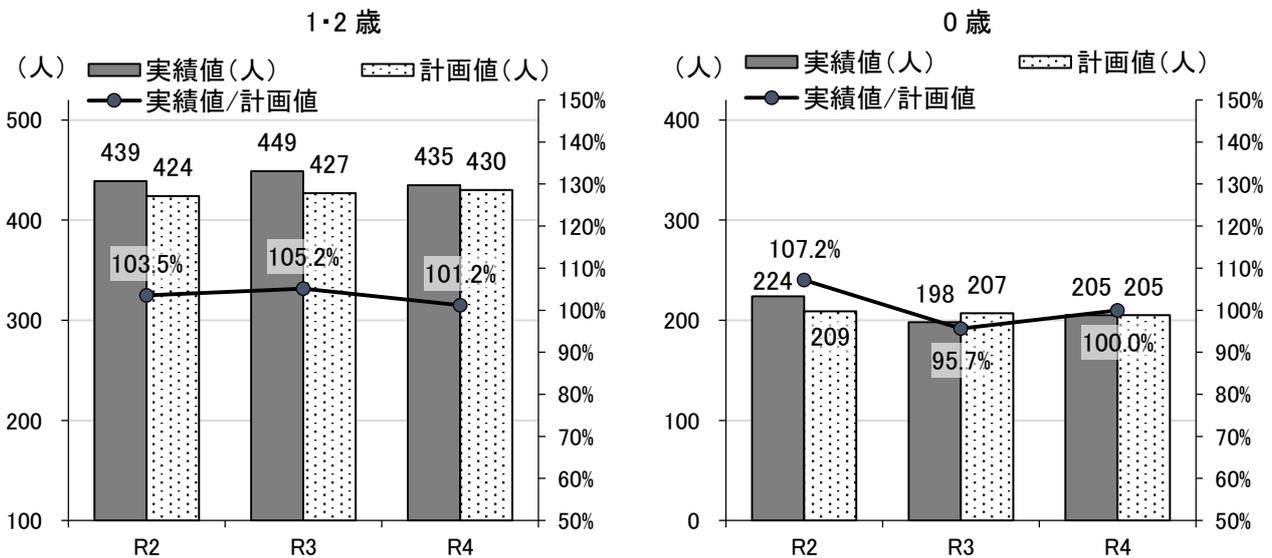
①系満中学校区

就学前児童人口の計画値と実績値の乖離は、3-5歳で5.2%、1・2歳で5.2%、0歳で7.2%となっています。



区分	0-5歳			3-5歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	1,349	1,332	1,331	686	685	691
計画値	1,311	1,299	1,292	678	665	657
実績値/計画値	102.9%	102.5%	103.0%	101.2%	103.0%	105.2%

各年4月1日現在

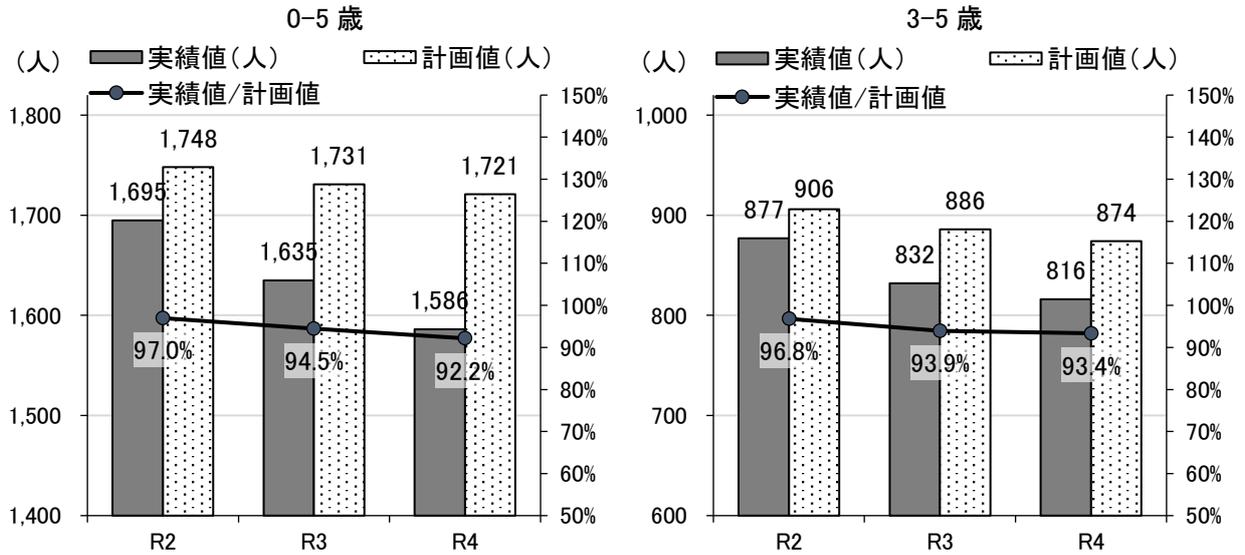


区分	1・2歳			0歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	439	449	435	224	198	205
計画値	424	427	430	209	207	205
実績値/計画値	103.5%	105.2%	101.2%	107.2%	95.7%	100.0%

各年4月1日現在

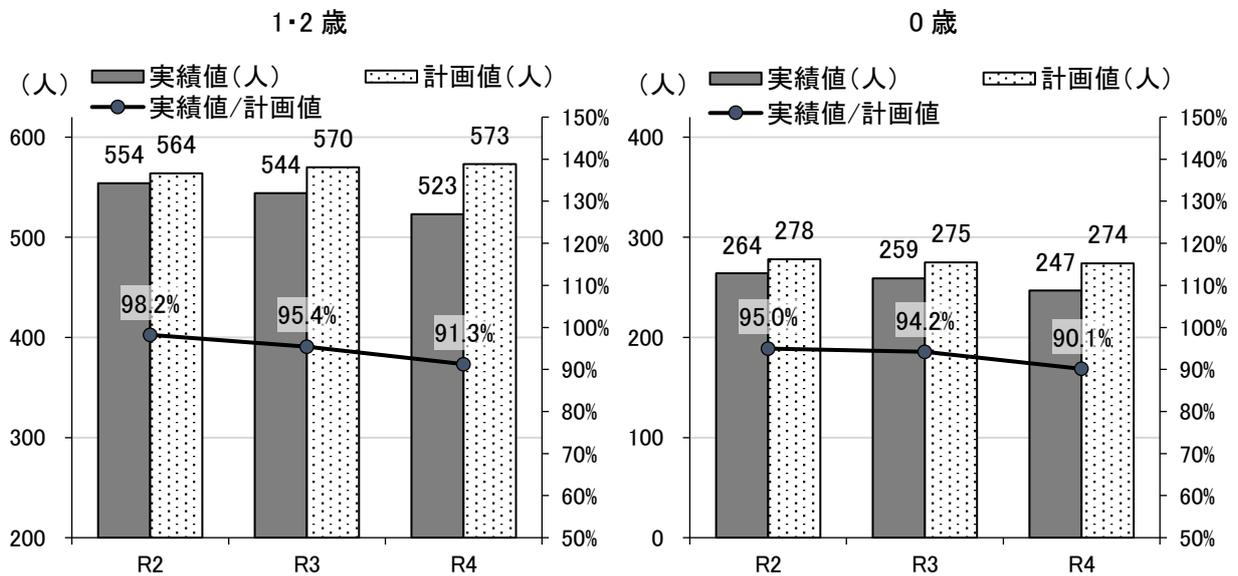
②西崎・潮平中学校区

就学前児童人口の計画値と実績値の乖離は、3-5歳で6.6%、1・2歳で8.7%、0歳で9.9%となっています。



区分	0-5歳			3-5歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	1,695	1,635	1,586	877	832	816
計画値	1,748	1,731	1,721	906	886	874
実績値/計画値	97.0%	94.5%	92.2%	96.8%	93.9%	93.4%

各年4月1日現在

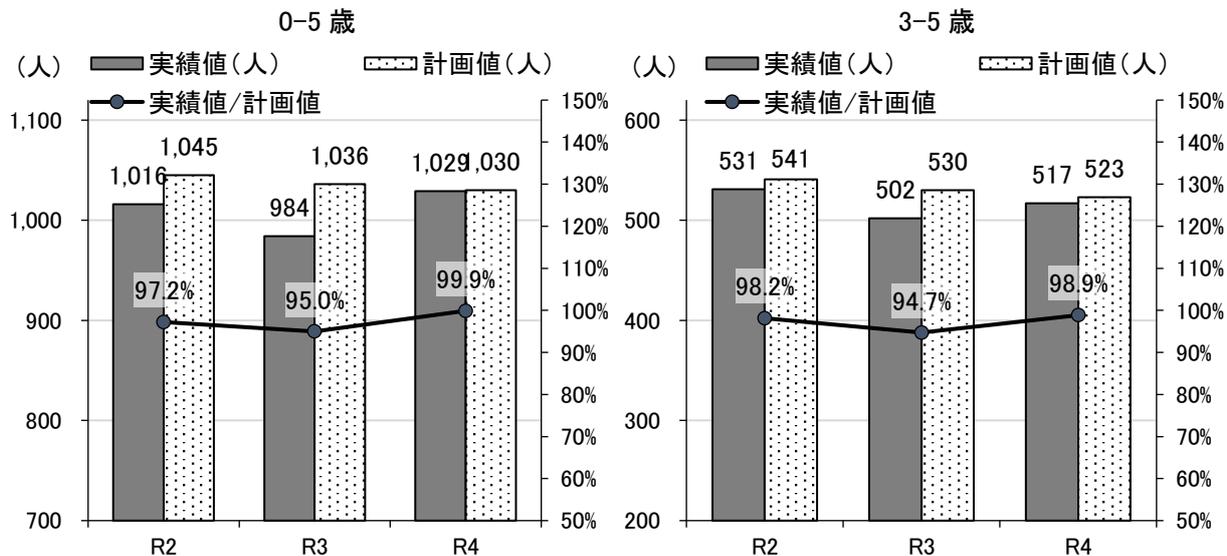


区分	1・2歳			0歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	554	544	523	264	259	247
計画値	564	570	573	278	275	274
実績値/計画値	98.2%	95.4%	91.3%	95.0%	94.2%	90.1%

各年4月1日現在

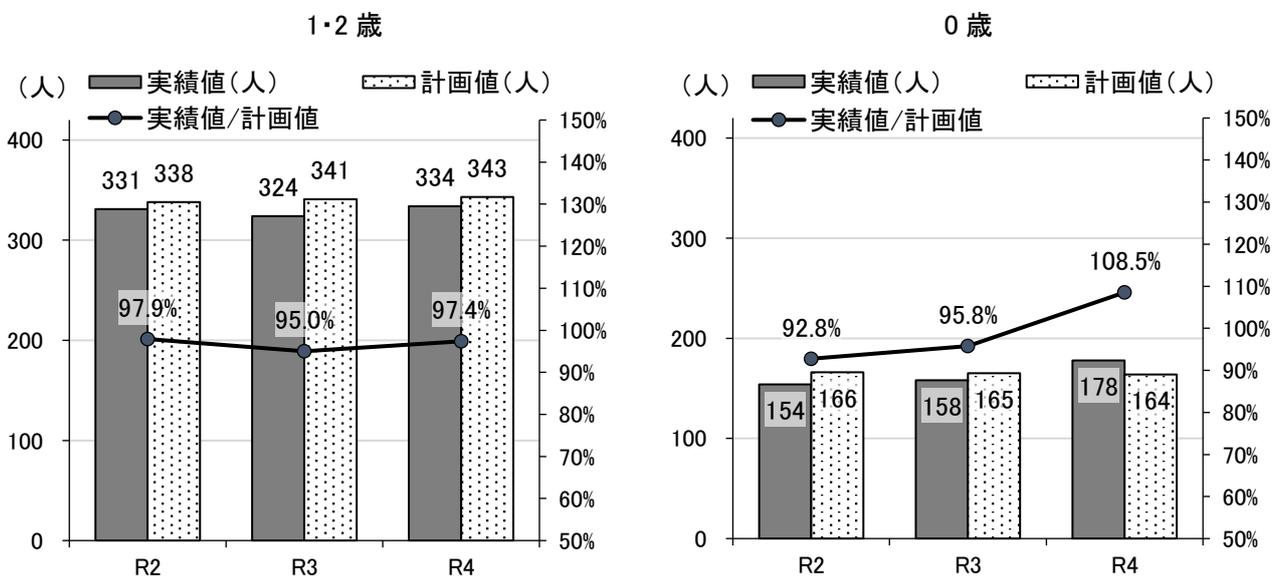
③兼城中学校区

就学前児童人口の計画値と実績値の乖離は、3-5歳で5.3%、1・2歳で5.0%、0歳で8.5%となっています。



区分	0-5歳			3-5歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	1,016	984	1,029	531	502	517
計画値	1,045	1,036	1,030	541	530	523
実績値/計画値	97.2%	95.0%	99.9%	98.2%	94.7%	98.9%

各年4月1日現在

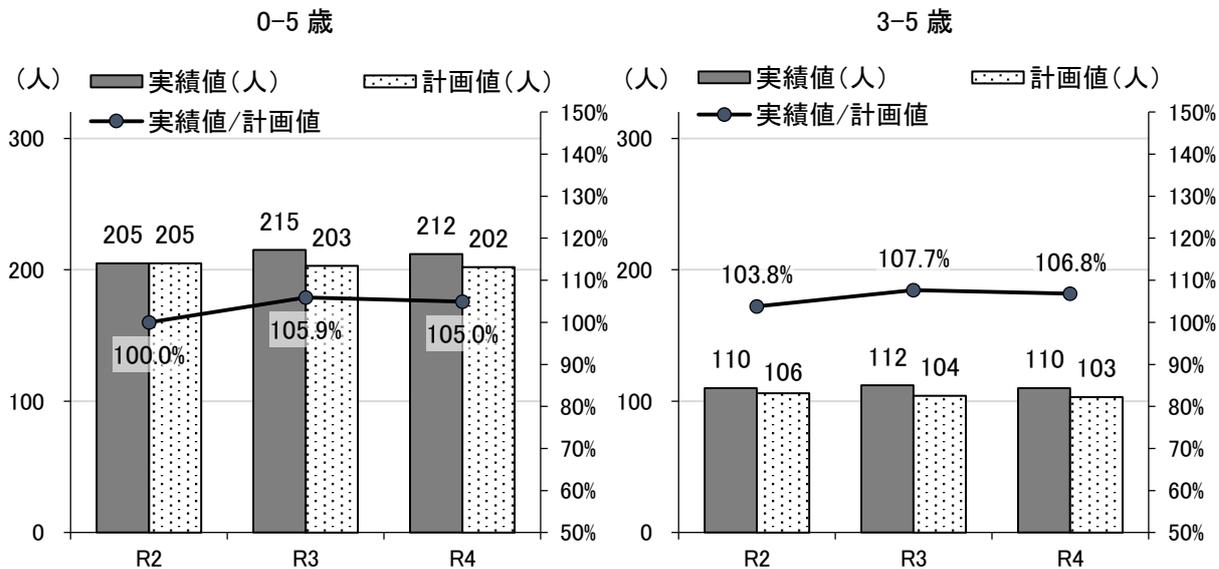


区分	1・2歳			0歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	331	324	334	154	158	178
計画値	338	341	343	166	165	164
実績値/計画値	97.9%	95.0%	97.4%	92.8%	95.8%	108.5%

各年4月1日現在

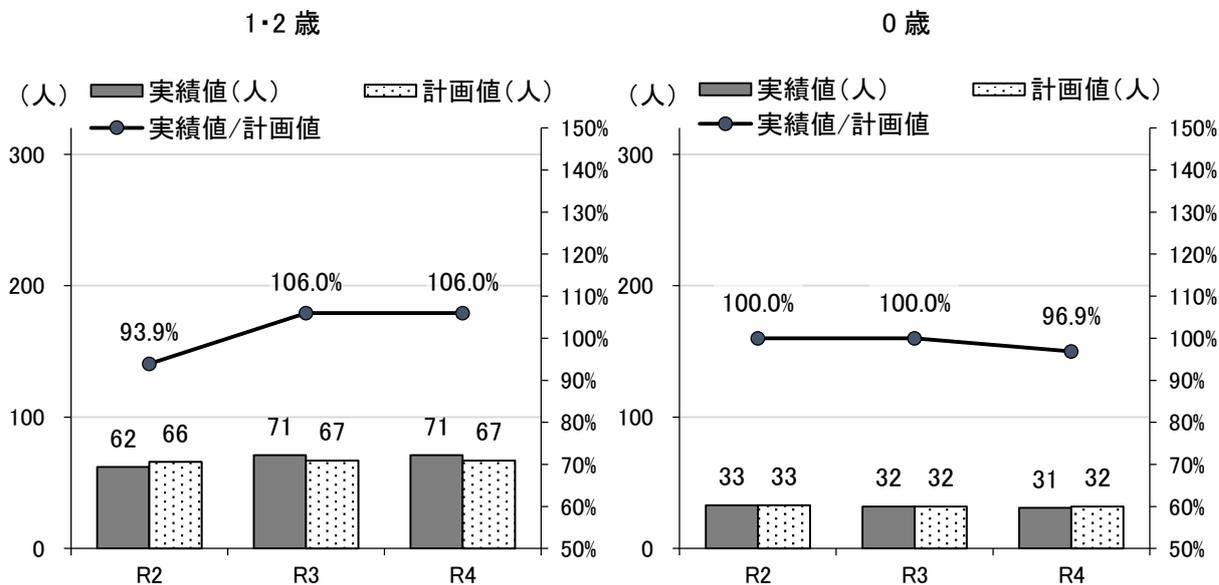
④高嶺中学校区

就学前児童人口の計画値と実績値の乖離は、3-5歳で7.7%、1・2歳で6.1%、0歳で3.1%となっています。



区分	0-5歳			3-5歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	205	215	212	110	112	110
計画値	205	203	202	106	104	103
実績値/計画値	100.0%	105.9%	105.0%	103.8%	107.7%	106.8%

各年4月1日現在

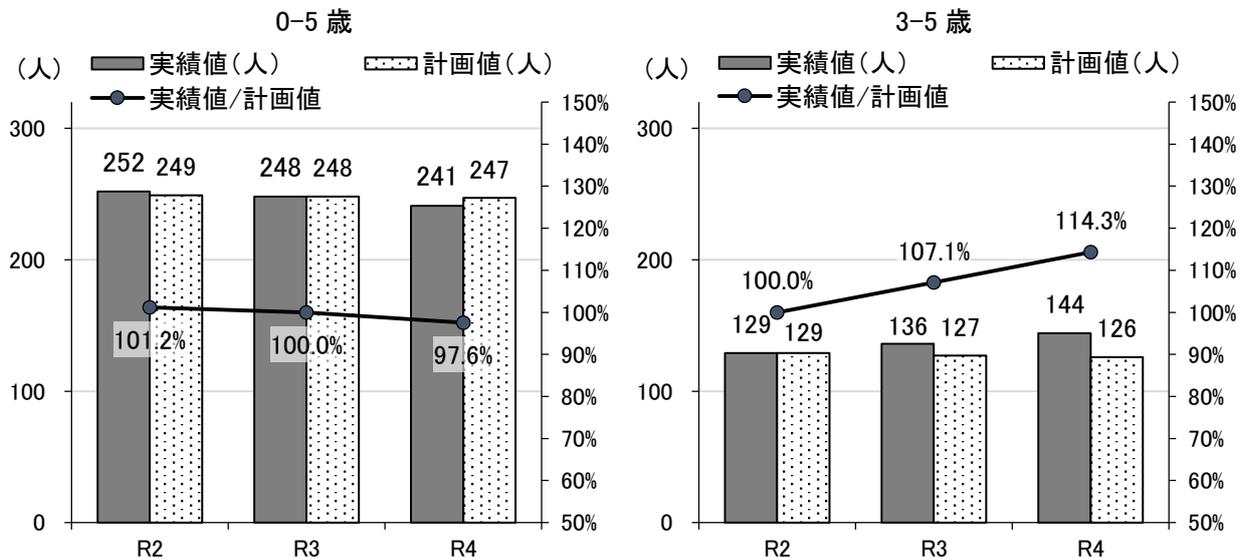


区分	1・2歳			0歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	62	71	71	33	32	31
計画値	66	67	67	33	32	32
実績値/計画値	93.9%	106.0%	106.0%	100.0%	100.0%	96.9%

各年4月1日現在

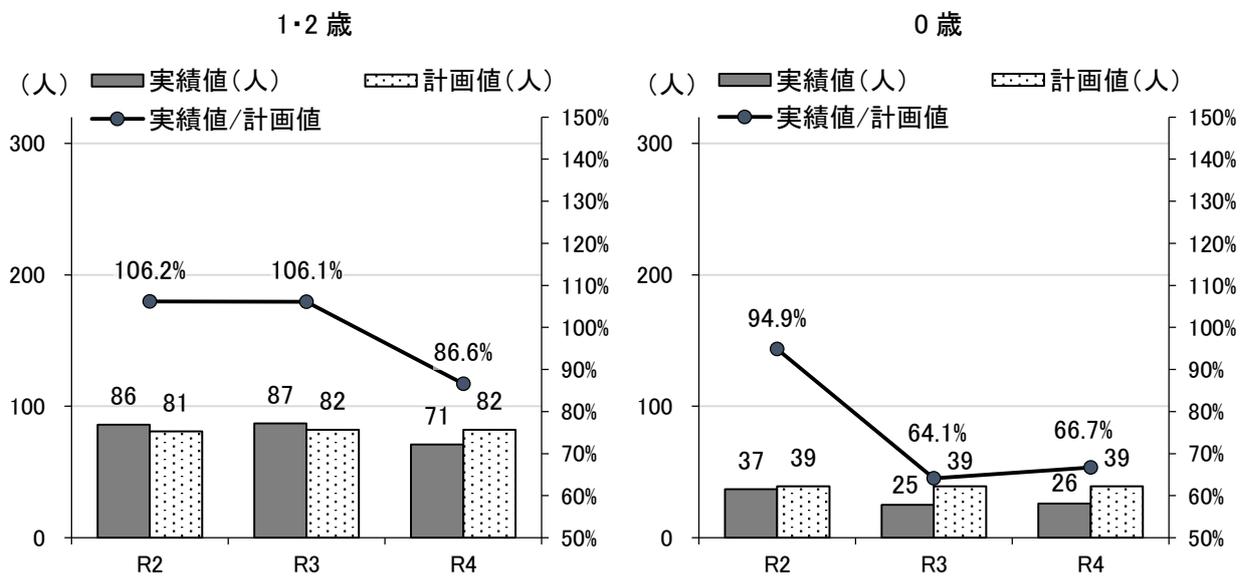
⑤三和中学校区

就学前児童人口の計画値と実績値の乖離は、3-5歳で14.3%、1・2歳で13.4%、0歳で35.9%と
なっています。



区分	0-5歳			3-5歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	252	248	241	129	136	144
計画値	249	248	247	129	127	126
実績値/計画値	101.2%	100.0%	97.6%	100.0%	107.1%	114.3%

各年4月1日現在



区分	1・2歳			0歳		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
実績値	86	87	71	37	25	26
計画値	81	82	82	39	39	39
実績値/計画値	106.2%	106.1%	86.6%	94.9%	64.1%	66.7%

各年4月1日現在

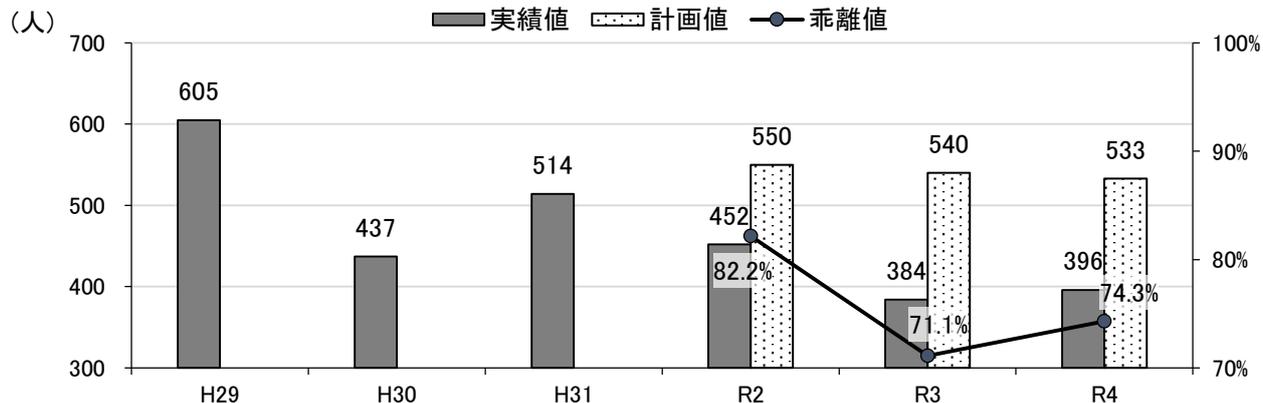
3. 教育・保育の量の見込みと乖離状況

(1) 教育・保育の量の見込みと計画値の乖離状況(市全体)

① 1号認定(3-5歳)

1号認定の教育・保育の量の見込みと計画値をみると、計画値より実績値が大幅に下回っており、計画値と実績値の乖離率は最大で28.9%となっています。

この要因として、共働き世帯の増加等が考えられます。



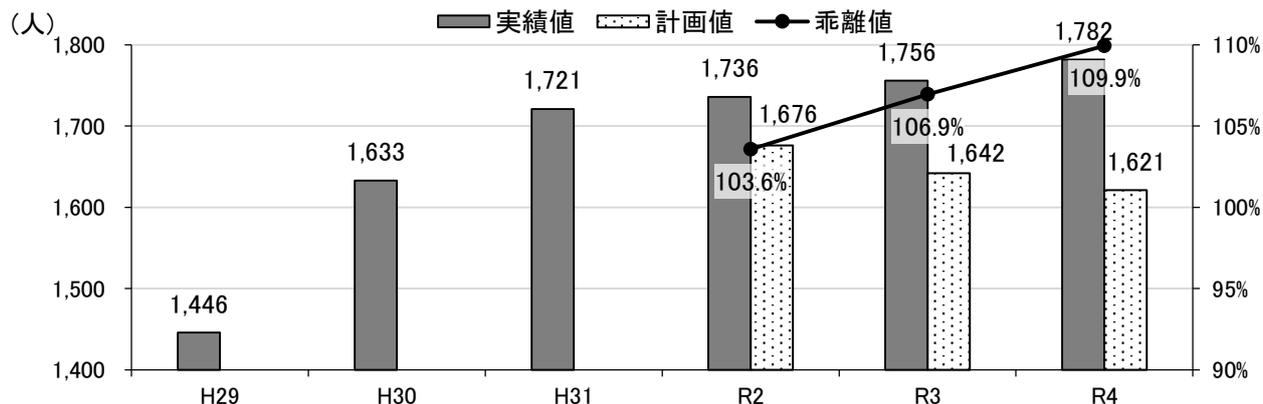
区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	605	437	514	452	384	396
計画値	—	—	—	550	540	533
実績値/計画値	—	—	—	82.2%	71.1%	74.3%

各年4月1日現在

② 2号認定(3-5歳)

2号認定の教育・保育の量の見込みと計画値をみると、計画値より実績値が大幅に上回っており、計画値と実績値の乖離率は最大で9.9%となっています。

この要因として、令和元年10月1日の幼児教育・保育の無償化や共働き世帯の増加等が考えられます。

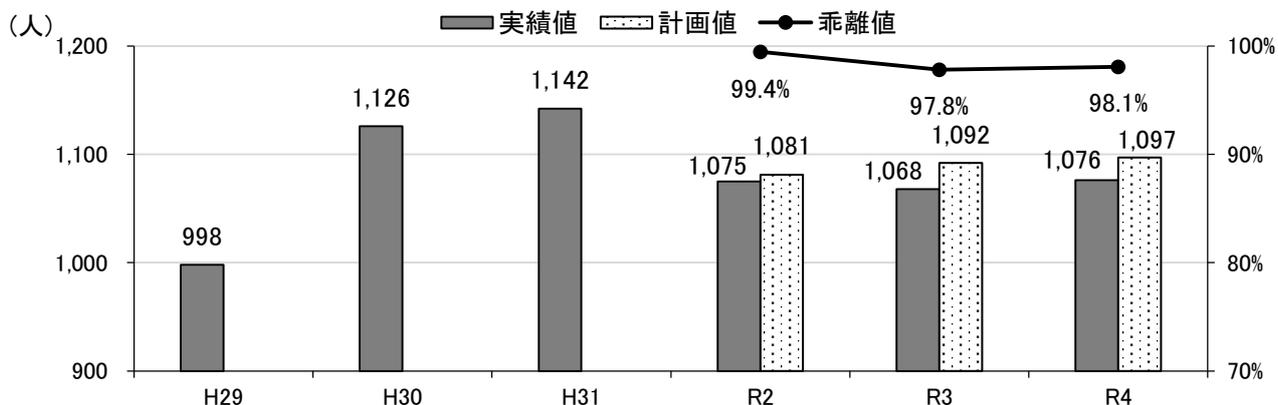


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	1,446	1,633	1,721	1,736	1,756	1,782
計画値	—	—	—	1,676	1,642	1,621
実績値/計画値	—	—	—	103.6%	106.9%	109.9%

各年4月1日現在

③ 3号認定(1-2歳)

3号認定(1-2歳)の教育・保育の量の見込みと計画値をみると、計画値と実績値には、大きな乖離はみられません。

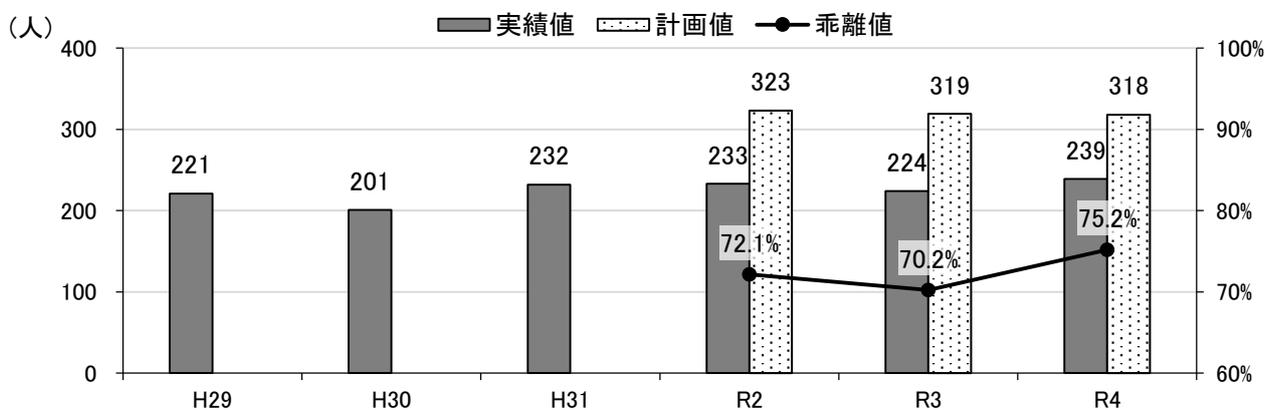


区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	998	1,126	1,142	1,075	1,068	1,076
計画値	—	—	—	1,081	1,092	1,097
実績値/計画値	—	—	—	99.4%	97.8%	98.1%

各年4月1日現在

④ 3号認定(0歳)

3号認定(0歳)の教育・保育の量の見込みと計画値をみると、計画値より実績値が大幅に下回っており、計画値と実績値の乖離率は最大で29.8%となっています。



区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実績値	221	201	232	233	224	239
計画値	—	—	—	323	319	318
実績値/計画値	—	—	—	72.1%	70.2%	75.2%

各年4月1日現在

⑤認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

◆ (1号認定(3-5歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	452	384	396
定員数	679	678	604
定員充足率	66.6%	56.6%	65.6%

各年4月1日現在

◆ (2号認定(3-5歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	1,736	1,756	1,782
定員数	1,693	1,752	1,860
定員充足率	102.5%	100.2%	95.8%

◆ (3号認定(1-2歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	1,075	1,068	1,076
定員数	986	1,021	988
定員充足率	109.0%	104.6%	108.9%

各年4月1日現在

◆ (3号認定(0歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	233	224	239
定員数	307	314	288
定員充足率	75.9%	71.3%	83.0%

◆待機児童数の状況

	H30	H31	R2	R3	R4
市全体	25	54	26	12	67
0歳	0	0	1	1	1
1歳	23	25	20	8	49
2歳	2	29	5	3	15
3歳	0	0	0	0	2
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

(2) 教育・保育の量の見込みと計画値の乖離状況(圏域別)

①糸満中学校

糸満中学校圏域の教育・保育の実績値と量の見込み(計画値)の乖離状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の実績値は年々減少しており、令和4年の乖離率は▲31.4%となっています。

また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)も年々下がり、令和4年は15.2%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の実績値は年々増加傾向にあり、令和4年の乖離率は25.7%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は年々上がり、令和4年は82.2%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の実績値は年によってばらつきがありますが、乖離率は最大で16.2%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、横ばいで推移しており、令和4年は80.0%となっています。

「3号認定(0歳)」の実績値は年によってばらつきがありますが、乖離率は最大で25.3%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、40.0%となっています。

糸満中学校圏域の教育・保育の実績値と定員数の状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の定員充足率は年々下がっており、令和4年は55.6%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の定員充足率は、定員数の増加に伴い年々下がっているものの、令和4年は128.8%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の定員充足率は、令和4年に定員数が減少し、令和4年は137.5%となっています。

「3号認定(0歳)」の定員充足率は、年々定員数が減少し、令和4年は113.9%となっています。

◆教育・保育量の見込み(1号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	132	121	105
計画値	157	155	153
実績値/計画値	84.1%	78.1%	68.6%

区分	R2	R3	R4
申請者数	132	121	105
対象人口	686	685	691
充足率	19.2%	17.7%	15.2%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(2号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	537	549	568
計画値	472	466	452
実績値/計画値	113.8%	117.8%	125.7%

区分	R2	R3	R4
申請者数	537	549	568
対象人口	686	685	691
充足率	78.3%	80.1%	82.2%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(1-2歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	354	366	348
計画値	314	315	313
実績値/計画値	112.7%	116.2%	111.2%

各年4月1日現在

区分	R2	R3	R4
申請者数	354	366	348
対象人口	439	449	435
充足率	80.6%	81.5%	80.0%

◆教育・保育量の見込み(3号認定(0歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	81	68	82
計画値	92	91	90
実績値/計画値	88.0%	74.7%	91.1%

各年4月1日現在

区分	R2	R3	R4
申請者数	81	68	82
対象人口	224	198	205
充足率	36.2%	34.3%	40.0%

◆認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

(1号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	132	121	105
定員数	205	205	189
定員充足率	64.4%	59.0%	55.6%

各年4月1日現在

(2号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	537	549	568
定員数	388	414	441
定員充足率	138.4%	132.6%	128.8%

(3号認定(1-2歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	354	366	348
定員数	255	274	253
定員充足率	138.8%	133.6%	137.5%

各年4月1日現在

(3号認定(0歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	81	68	82
定員数	79	77	72
定員充足率	102.5%	88.3%	113.9%

◆糸満中学校区待機児童数の状況(教育・保育)

	H30	H31	R2	R3	R4
全体	9	24	10	2	25
0歳	0	0	1	0	1
1歳	8	12	8	1	17
2歳	1	12	1	1	5
3歳	0	0	0	0	2
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

②西崎・潮平中学校

西崎・潮平中学校圏域の教育・保育の実績値と量の見込み(計画値)の乖離状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の実績値は年々減少しており、令和4年の乖離率は▲25.4%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は横ばいで推移しており、令和4年は18.8%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の実績値は減少しているもの乖離率は22.8%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は年々上がり、令和4年は90.6%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の実績値は年によってばらつきがありますが、乖離率は最大で9.3%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、83.4%となっています。

「3号認定(0歳)」の実績値は年によってばらつきがありますが、乖離率は最大で27.3%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、35.6%となっています。

西崎・潮平中学校圏域の教育・保育の実績値と定員数の状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の定員充足率は、令和4年に定員数が減少したため、令和4年は113.3%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の定員充足率は、定員数の増加に伴い年々減少しているものの、令和4年は102.1%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の定員充足率は、定員数の減少に伴い、令和4年は96.2%となっています。

「3号認定(0歳)」の定員充足率は、令和4年に定員数が減少し、令和4年は62.4%となっています。

◆教育・保育量の見込み(1号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	170	151	153
計画値	210	208	205
実績値/計画値	81.0%	72.6%	74.6%

区分	R2	R3	R4
申請者数	170	151	153
対象人口	877	832	816
充足率	19.4%	18.1%	18.8%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(2号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	763	739	739
計画値	629	621	602
実績値/計画値	121.3%	119.0%	122.8%

区分	R2	R3	R4
申請者数	763	739	739
対象人口	877	832	816
充足率	87.0%	88.8%	90.6%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(1-2歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	458	430	436
計画値	419	421	417
実績値/計画値	109.3%	102.1%	104.6%

区分	R2	R3	R4
申請者数	458	430	436
対象人口	554	544	523
充足率	82.7%	79.0%	83.4%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(0歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	96	104	88
計画値	122	122	121
実績値/計画値	78.7%	85.2%	72.7%

区分	R2	R3	R4
申請者数	96	104	88
対象人口	264	259	247
充足率	36.4%	40.2%	35.6%

各年4月1日現在

◆認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

(1号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	170	151	153
定員数	161	160	135
定員充足率	105.6%	94.4%	113.3%

(2号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	763	739	739
定員数	672	674	724
定員充足率	113.5%	109.6%	102.1%

各年4月1日現在

(3号認定(1-2歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	458	430	436
定員数	489	485	453
定員充足率	93.7%	88.7%	96.2%

(3号認定(0歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	96	104	88
定員数	162	162	141
定員充足率	59.3%	64.2%	62.4%

各年4月1日現在

◆西崎中学校区待機児童数の状況(教育・保育)

	H30	H31	R2	R3	R4
全体	14	19	10	4	26
0歳	0	0	0	0	0
1歳	13	11	8	2	20
2歳	1	8	2	2	6
3歳	0	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

③兼城中学校

兼城中学校圏域の教育・保育の実績値と量の見込み(計画値)の乖離状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の実績値は年によりばらつきがあり、令和4年の乖離率は▲10.2%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、令和4年は20.5%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の実績値は増加傾向にあり、令和4年の乖離率は▲27.5%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、令和4年は50.5%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の実績値は令和4年に増加し、令和4年の乖離率は▲26.8%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、54.8%となっています。

「3号認定(0歳)」の実績値は年によってばらつきがありますが、乖離率は最大で▲50.7%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、21.0%となっています。

兼城中学校圏域の教育・保育の実績値と定員数の状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の定員充足率は令和4年に定員数が減少したため、令和4年は57.0%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の定員充足率は、定員数の増加に伴い年々下がっており、令和4年は71.9%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の定員充足率は、定員数は年々増加しているものの、令和4年は116.6%となっています。

「3号認定(0歳)」の定員充足率は、令和3年に定員数が増加しているものの、令和4年は102.4%となっています。

◆教育・保育量の見込み(1号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	124	89	106
計画値	124	123	118
実績値/計画値	100.0%	72.4%	89.8%

区 分	R2	R3	R4
申請者数	124	89	106
対象人口	531	502	517
充足率	23.4%	17.7%	20.5%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(2号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	244	259	261
計画値	377	372	360
実績値/計画値	64.7%	69.6%	72.5%

区 分	R2	R3	R4
申請者数	244	259	261
対象人口	531	502	517
充足率	46.0%	51.6%	50.5%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(1-2歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	155	156	183
計画値	250	252	250
実績値/計画値	62.0%	61.9%	73.2%

区分	R2	R3	R4
申請者数	155	156	183
対象人口	331	324	334
充足率	46.8%	48.1%	54.8%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(0歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	38	36	43
計画値	73	73	72
実績値/計画値	52.1%	49.3%	59.7%

区分	R2	R3	R4
申請者数	38	36	43
対象人口	154	158	178
充足率	24.7%	22.8%	24.2%

各年4月1日現在

◆認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

(1号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	124	89	106
定員数	191	191	186
定員充足率	64.9%	46.6%	57.0%

(2号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	244	259	261
定員数	321	352	363
定員充足率	76.0%	73.6%	71.9%

各年4月1日現在

(3号認定(1-2歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	155	156	183
定員数	120	140	157
定員充足率	129.2%	111.4%	116.6%

(3号認定(0歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	38	36	43
定員数	33	42	42
定員充足率	115.2%	85.7%	102.4%

各年4月1日現在

◆兼城中学校区待機児童数の状況(教育・保育)

	H30	H31	R2	R3	R4
全体	0	9	4	3	9
0歳	0	0	0	0	0
1歳	0	1	3	3	7
2歳	0	8	1	0	2
3歳	0	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

④高嶺中学校

高嶺中学校圏域の教育・保育の実績値と量の見込み(計画値)の乖離状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の実績値は令和4年に増加しており、令和4年の乖離率は▲56.5%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、9.1%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の実績値は年によってばらつきがあり、令和4年の乖離率は19.7%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、77.3%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の実績値は年々増加し、令和4年の乖離率は8.2%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、74.6%となっています。

「3号認定(0歳)」の実績値は増加傾向にあり、令和4年の乖離率は▲7.1%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、41.9%となっています。

高嶺中学校圏域の教育・保育の実績値と定員数の状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の定員充足率は令和4年に定員数が減少したものの、令和4年は25.0%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の定員充足率は、令和4年に定員数が減少したものの、令和4年は48.0%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の定員充足率は、令和4年に定員数が増加し、令和4年は85.5%となっています。

「3号認定(0歳)」の定員充足率は、定員数が変わらないものの申請者が増加傾向にあり、令和4年は61.9%となっています。

◆教育・保育量の見込み(1号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	6	6	10
計画値	24	24	23
実績値/計画値	25.0%	25.0%	43.5%

区 分	R2	R3	R4
申請者数	6	6	10
対象人口	110	112	110
充足率	5.5%	5.4%	9.1%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(2号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	85	89	85
計画値	74	73	71
実績値/計画値	114.9%	121.9%	119.7%

区 分	R2	R3	R4
申請者数	85	89	85
対象人口	110	112	110
充足率	77.3%	79.5%	77.3%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(1-2歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	37	48	53
計画値	49	49	49
実績値/計画値	75.5%	98.0%	108.2%

各年4月1日現在

区 分	R2	R3	R4
申請者数	37	48	53
対象人口	62	71	71
充足率	59.7%	67.6%	74.6%

◆教育・保育量の見込み(3号認定(0歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区 分	R2	R3	R4
実績値	7	11	13
計画値	14	14	14
実績値/計画値	50.0%	78.6%	92.9%

各年4月1日現在

区 分	R2	R3	R4
申請者数	7	11	13
対象人口	33	32	31
充足率	21.2%	34.4%	41.9%

◆認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

(1号認定(3-5歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	6	6	10
定員数	68	68	40
定員充足率	8.8%	8.8%	25.0%

各年4月1日現在

(2号認定(3-5歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	85	89	85
定員数	157	157	177
定員充足率	54.1%	56.7%	48.0%

(3号認定(1-2歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	37	48	53
定員数	59	59	62
定員充足率	62.7%	81.4%	85.5%

各年4月1日現在

(3号認定(0歳))

区 分	R2	R3	R4
申請者数	7	11	13
定員数	21	21	21
定員充足率	33.3%	52.4%	61.9%

◆高嶺中学校区待機児童数の状況(教育・保育)

	H30	H31	R2	R3	R4
全体	0	0	2	1	3
0歳	0	0	0	1	0
1歳	0	0	1	0	3
2歳	0	0	1	0	0
3歳	0	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

⑤三和中学校

三和中学校圏域の教育・保育の実績値と量の見込み(計画値)の乖離状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の実績値は年によってばらつきがあり、令和4年の乖離率は▲21.4%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、17.5%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の実績値は年々増加しており、令和4年の乖離率は48.3%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は年々上がり、令和4年は102.4%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の実績値は年によってばらつきがあり、令和4年の乖離率は▲6.7%となっています。また、教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、横ばいで推移しており、令和4年は78.9%となっています。

「3号認定(0歳)」の実績値は年によってばらつきがあり、令和4年の乖離率は▲27.8%となっています。また、令和4年の教育保育施設の充足率(対象人口に対するニーズ割合)は、50.0%となっています。

三和中学校圏域の教育・保育の実績値と定員数の状況を認定区分別にみると、「1号認定(3-5歳)」の定員充足率は年によってばらつきがあり、令和4年は40.7%となっています。

「2号認定(3-5歳)」の定員充足率は、申請者数の増加に伴い年々上がっており、令和4年は83.2%となっています。

「3号認定(1-2歳)」の定員充足率は、申請者数の減少に伴い年々下がっており、令和4年は88.9%となっています。

「3号認定(0歳)」の定員充足率は、歳によってばらつきがあり、令和4年は108.3%となっています。

◆教育・保育量の見込み(1号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	20	17	22
計画値	29	28	28
実績値/計画値	69.0%	60.7%	78.6%

区分	R2	R3	R4
申請者数	20	17	22
対象人口	129	127	126
充足率	15.5%	13.4%	17.5%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(2号認定(3-5歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	107	120	129
計画値	90	89	87
実績値/計画値	118.9%	134.8%	148.3%

区分	R2	R3	R4
申請者数	107	120	129
対象人口	129	127	126
充足率	82.9%	94.5%	102.4%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(1-2歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	71	68	56
計画値	60	60	60
実績値/計画値	118.3%	113.3%	93.3%

区分	R2	R3	R4
申請者数	71	68	56
対象人口	86	87	71
充足率	82.6%	78.2%	78.9%

各年4月1日現在

◆教育・保育量の見込み(3号認定(0歳))及び充足率(対象人口に対するニーズ割合)

区分	R2	R3	R4
実績値	11	5	13
計画値	18	18	18
実績値/計画値	61.1%	27.8%	72.2%

区分	R2	R3	R4
申請者数	11	5	13
対象人口	37	25	26
充足率	29.7%	20.0%	50.0%

各年4月1日現在

◆認定区分別申請者数及び認定区分別定員数の状況

(1号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	20	17	22
定員数	54	54	54
定員充足率	37.0%	31.5%	40.7%

(2号認定(3-5歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	107	120	129
定員数	155	155	155
定員充足率	69.0%	77.4%	83.2%

各年4月1日現在

(3号認定(1-2歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	71	68	56
定員数	63	63	63
定員充足率	112.7%	107.9%	88.9%

(3号認定(0歳))

区分	R2	R3	R4
申請者数	11	5	13
定員数	12	12	12
定員充足率	91.7%	41.7%	108.3%

各年4月1日現在

◆三和中学校区待機児童数の状況(教育・保育)

	H30	H31	R2	R3	R4
全体	2	2	0	2	4
0歳	0	0	0	0	0
1歳	2	1	0	2	2
2歳	0	1	0	0	2
3歳	0	0	0	0	0
4歳	0	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0	0

各年4月1日現在

4. 地域子ども・子育て支援事業(13事業)の量の見込みと計画値の状況

①利用者支援事業

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

令和2年度より「保育こども園課」、「子育て世代包括支援センター」の2カ所にて実施しています。

区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4
実施箇所	1	1	1	2	2	2
量の見込み	—	—	—	2	2	2

各年4月1日現在

②地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業で、現在、市内3箇所(「ぬくぬく」、「まかべ」、「ぽかぽか」)にて実施しています。

平成31年以降延べ利用者人数が減少した要因として、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きいと考えられます。

区分		H29	H30	H31	R2	R3
実施箇所	延べ利用人数	23,826	23,969	18,240	10,069	4,817
	実施箇所	3	3	3	3	3
量の見込み	延べ利用人数	—	—	—	32,464	32,567
	実施箇所	—	—	—	3	3

③妊婦健康診査

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

区分	H29	H30	H31	R2	R3
受診者数	10,505	8,991	9,662	9,125	7,799
量の見込み	—	—	—	10,150	10,052

④乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

区分	H29	H30	H31	R2	R3
訪問実績	761	791	683(702)	597(635)	605(664)
量の見込み	—	—	—	725	718

※対象者人数(訪問実績(実数))

⑤養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
訪問実績	689	717	16 (34)	15 (30)	8 (43)
量の見込み	—	—	—	254	251

※平成 30 年度までの数値は母子保健推進員による訪問が含まれており、平成 31 年度からは本事業による実績値。

対象者人数(訪問実績(延べ))

⑥子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。

令和 3 年度まで本事業は未実施でしたが、令和 5 年 3 月より実施を予定しています。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
実績(人)	0	0	0	0	0
量の見込み	—	—	—	18	18

⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

令和 2 年以降の利用人数の増加は、令和 2 年 3 月全国小中学校、高校、特別支援学校への一斉休校要請によるものと考えられます。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
実績(人)	272	92	70	254	504
量の見込み	—	—	—	250	250

⑧一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、在園児対応型及び上記以外について、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

区 分		H29	H30	H31	R2	R3
利用延人数	在園児対応型	0	0	0	0	0
	上記以外	190	750	658	513	580
量の見込み	在園児対応型	—	—	—	6,737	6,600
	上記以外	—	—	—	1,385	1,390

⑨延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業で、市内の教育保育施設全園で実施しています。

量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
利用実人数	150	107	1,023	914	838
量の見込み	—	—	—	908	900

⑩病児・病後児保育事業

病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業で本市では、小児科 2 か所において本事業を行っています。

量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

令和2年の利用人数が少ない要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大により1施設が事業休止したことが考えられます。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
利用実人数	532	532	389	96	175
量の見込み	—	—	—	1,430	1,417

⑪放課後児童健全育成事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

共働き世帯の増加等により、特に低学年を中心として利用人数が増加していますが、定員増加等により、実績値・量の見込みに大きな乖離は見られません。

区 分		H29	H30	H31	R2	R3
申請人数	低学年	666	714	697	743	792
	高学年	62	54	84	75	76
量の見込み		—	—	—	832	831

⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

各施設事業者において実費徴収を行うことが出来ることとされている「食事の提供に要する費用」及び「日用品、文房具等の購入に要する費用」等について、低所得世帯を対象に費用の一部を補助する事業です。

※第2期計画では量の見込みを設定していません。

⑬多様な事業者の参入促進・能力活用事業

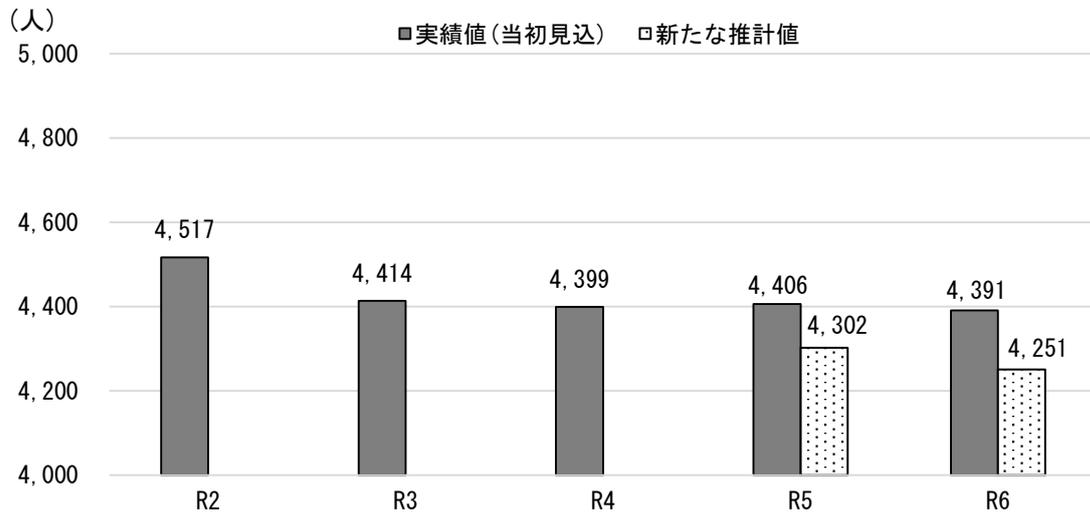
地域の教育・保育需要に沿った教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を進める上で、多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る事業です。

区 分	H29	H30	H31	R2	R3
箇所数	2	2	2	2	2
量の見込み	—	—	—	5	5

5. 新たな児童人口推計

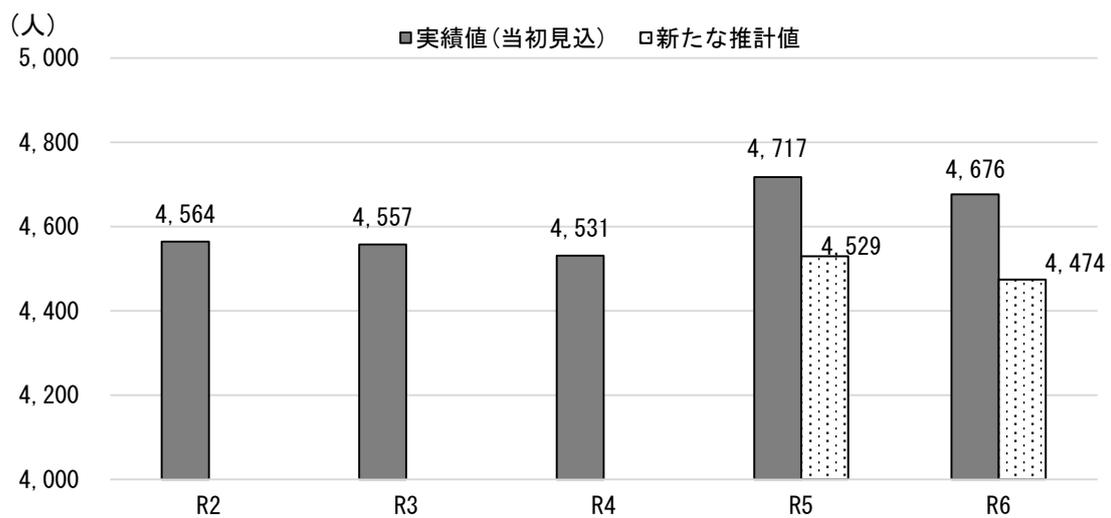
(1) 就学前児童人口(市全体)

市全体の就学前児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより減少して推移すると考えられます。



(2) 就学児童人口(市全体)

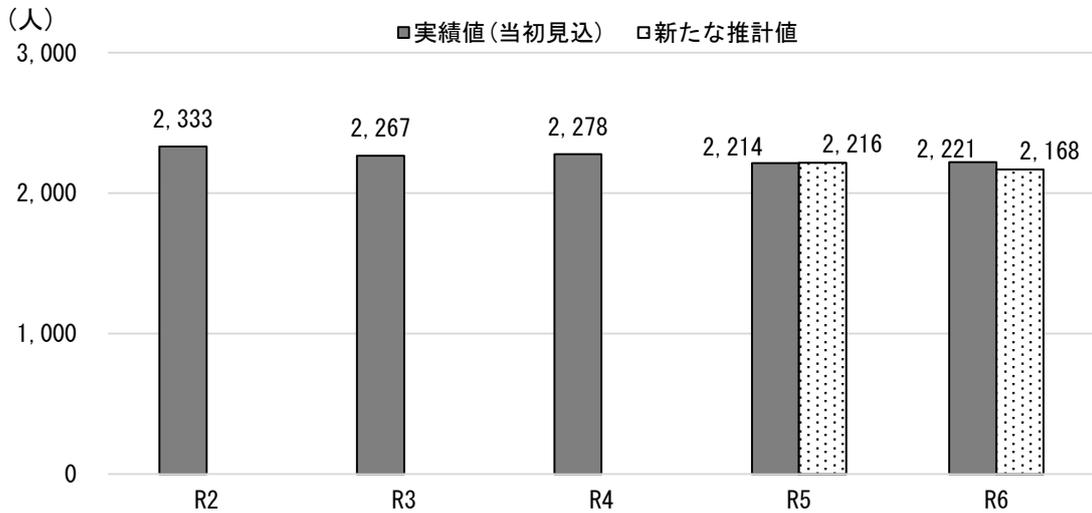
市全体の就学児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより減少して推移すると考えられます。



(3) 年齢区分別児童人口(市全体)

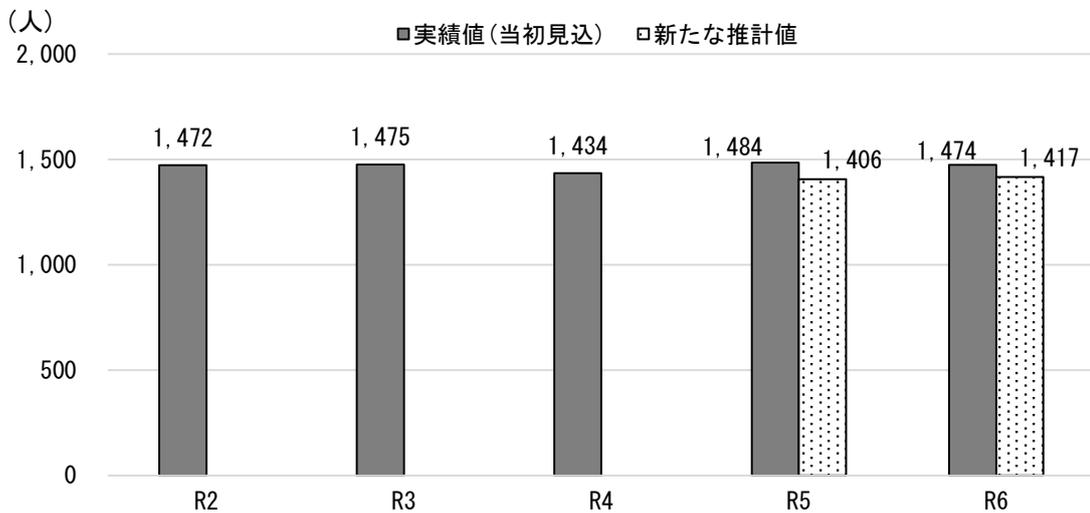
①3-5 歳児童人口推移

市全体の 3-5 歳児童人口は令和 2 年から令和 4 年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みと同等で推移すると考えられます。



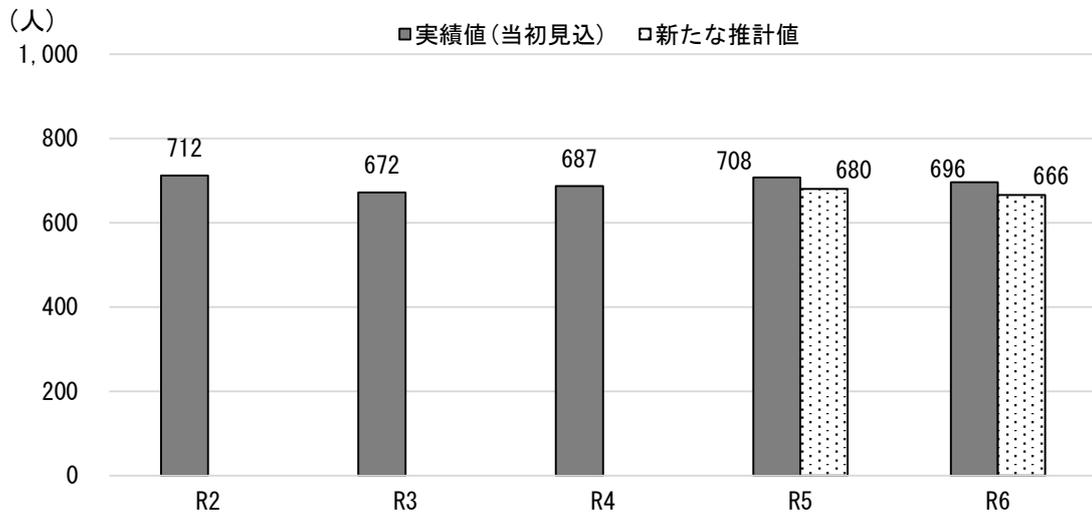
②1-2 歳児童人口推移

市全体の 1-2 歳児童人口は令和 2 年から令和 4 年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより、やや減少して推移すると考えられます。



③0歳児童人口推移

市全体の0歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより、減少して推移すると考えられます。

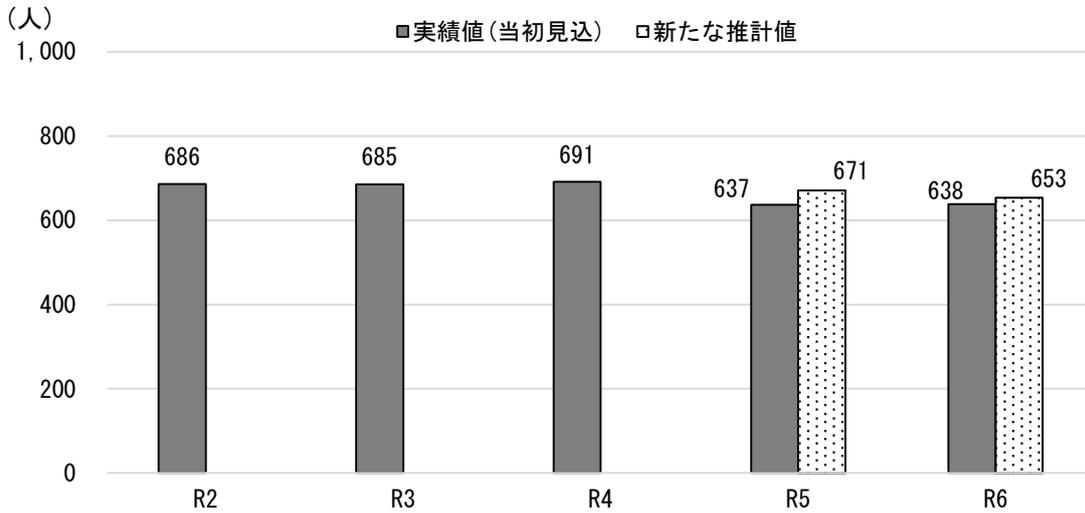


(4) 年齢区分別児童人口(中学校区別)

①糸満中学校

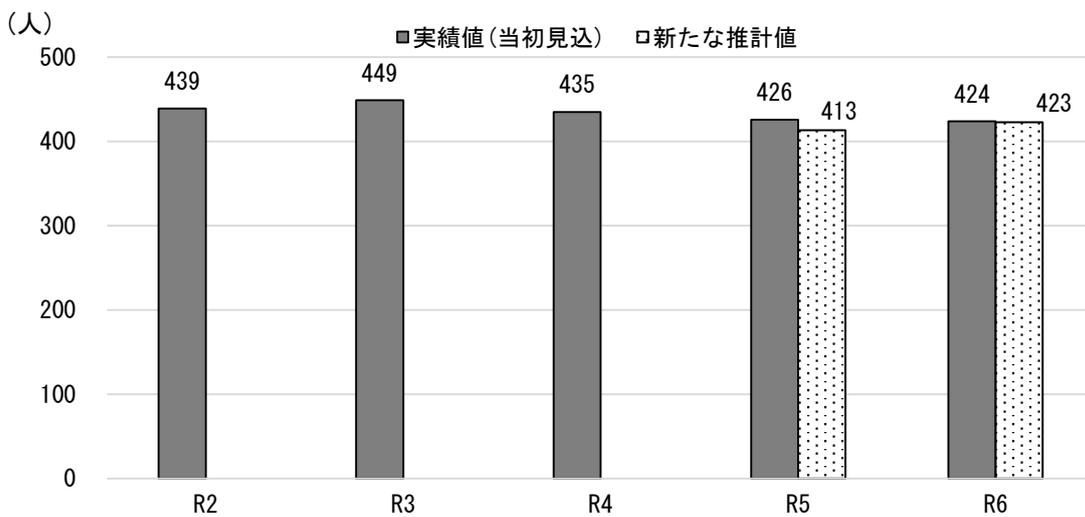
■3-5歳児童人口推移

糸満中学校の3-5歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより増加して推移すると考えられます。



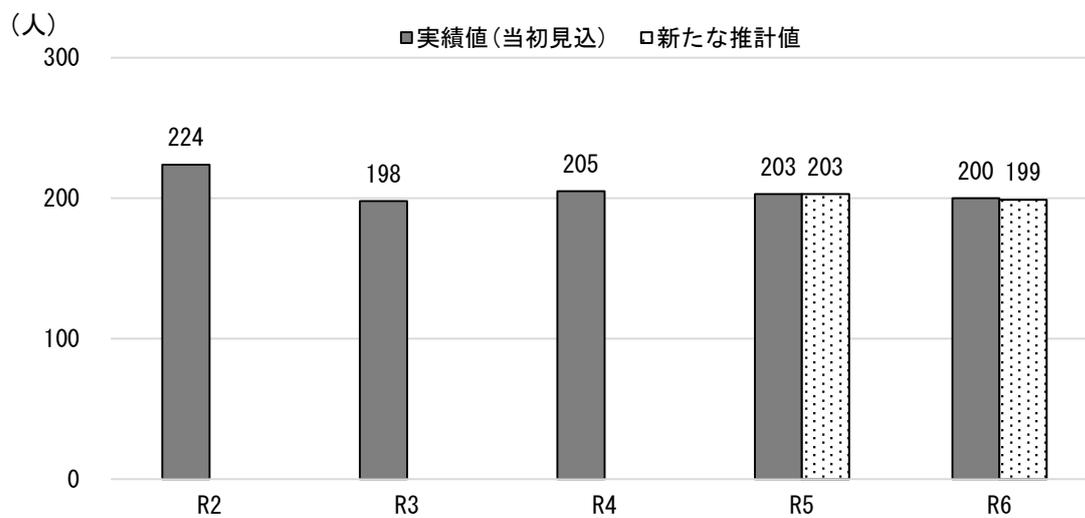
■1-2歳児童人口推移

糸満中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みと同等で推移すると考えられます。



■0歳児童人口推移

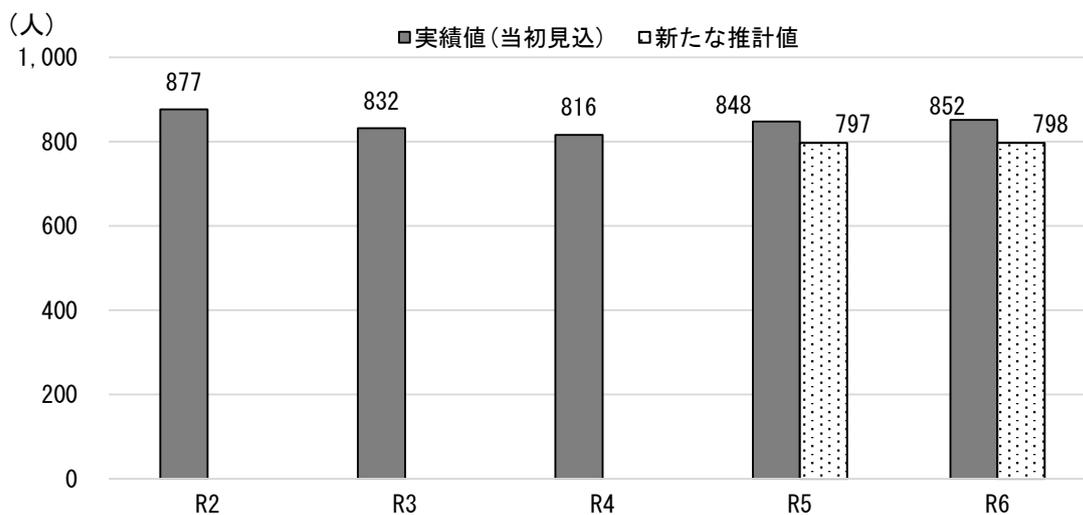
糸満中学校の0歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みと同等で推移すると考えられます。



②西崎・潮平中学校

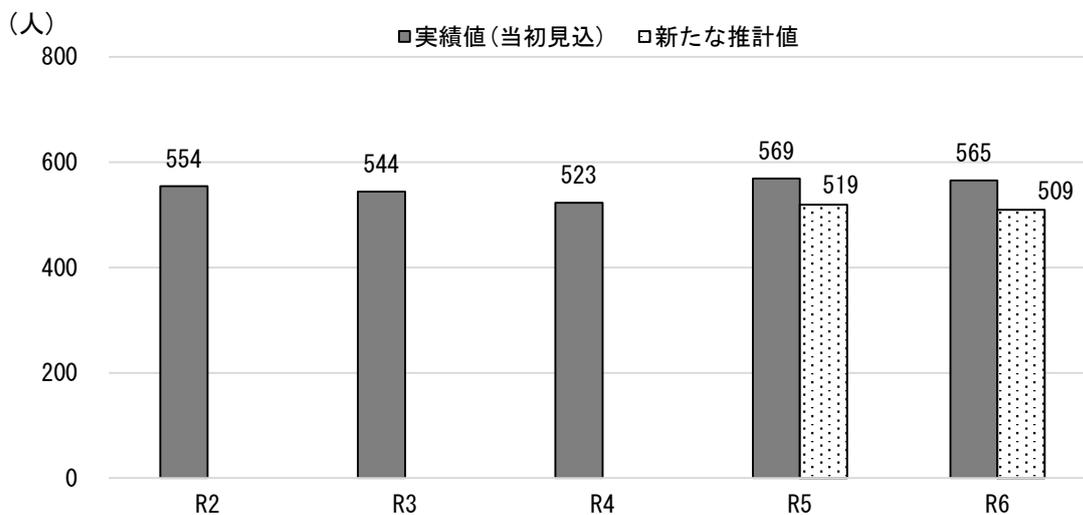
■3-5 歳児童人口推移

西崎・潮平中学校の3-5歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより大きく減少して推移すると考えられます。



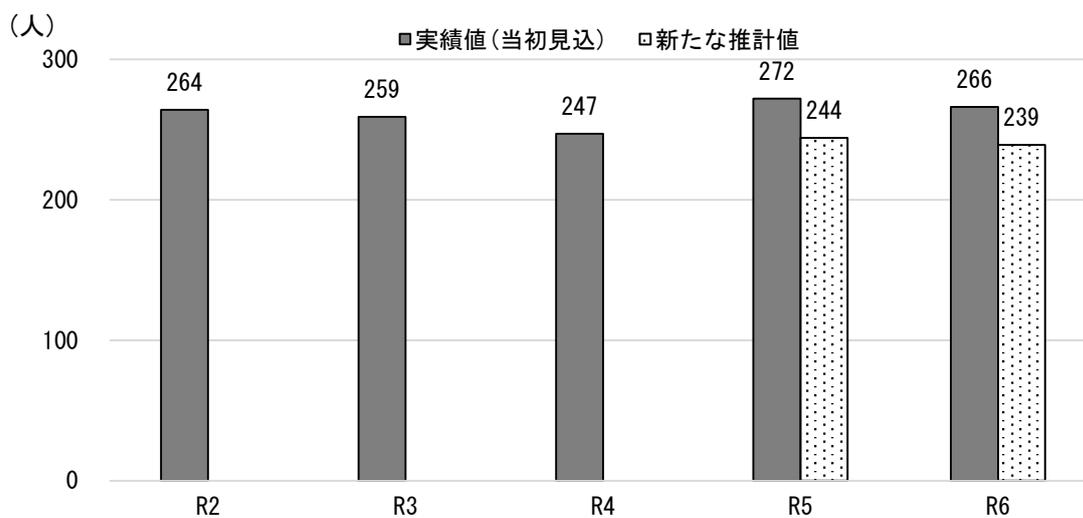
■1-2 歳児童人口推移

西崎・潮平中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより大きく減少して推移すると考えられます。



■0歳児童人口推移

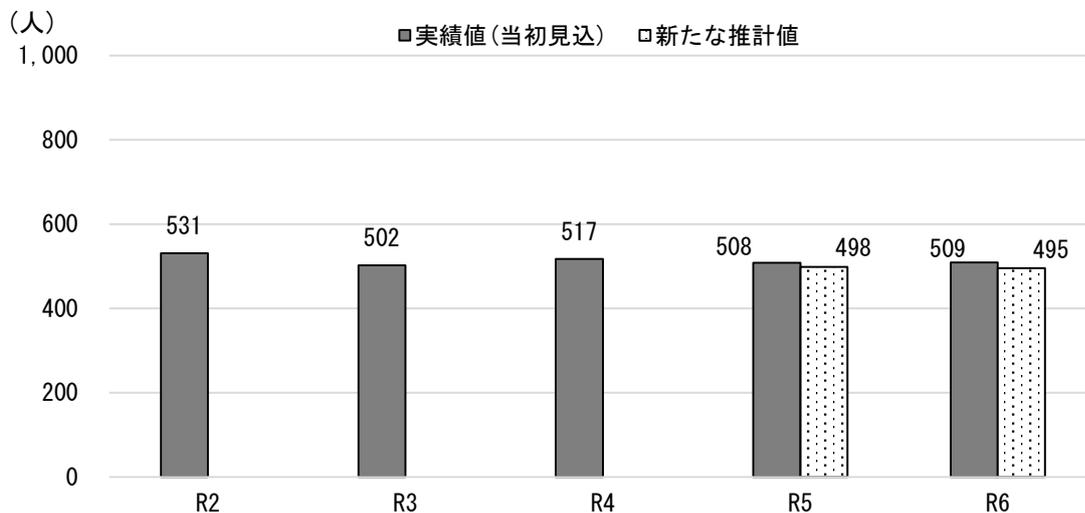
西崎・潮平中学校の0歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより減少して推移すると考えられます。



③兼城中学校

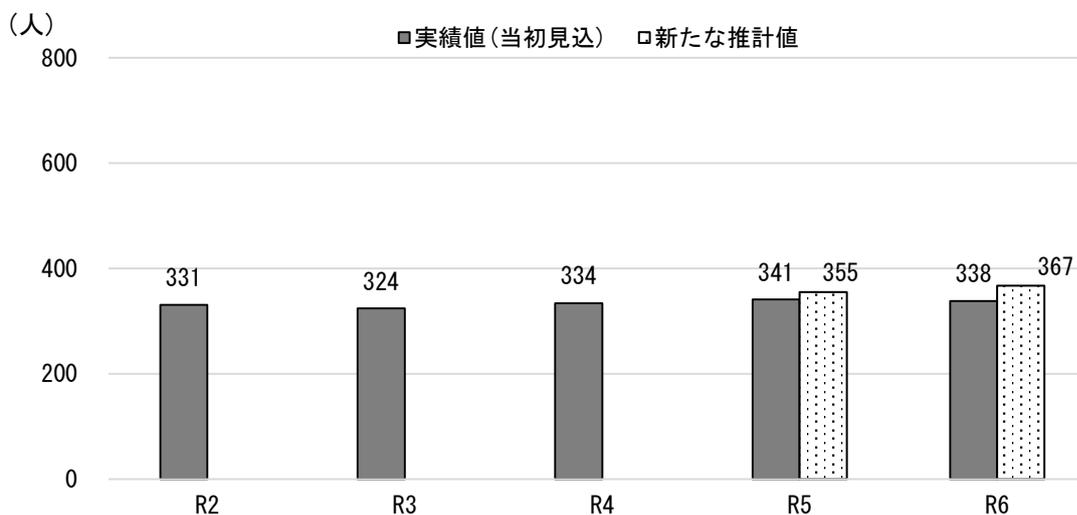
■3-5 歳児童人口推移

兼城中学校の3-5歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより多少減少して推移すると考えられます。



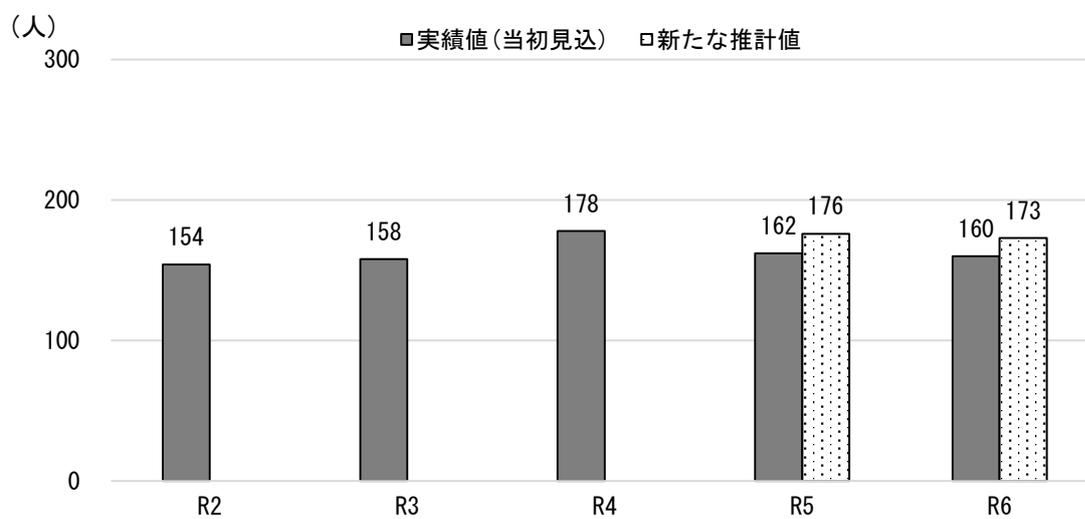
■1-2 歳児童人口推移

兼城中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより多少増加して推移すると考えられます。



■0歳児童人口推移

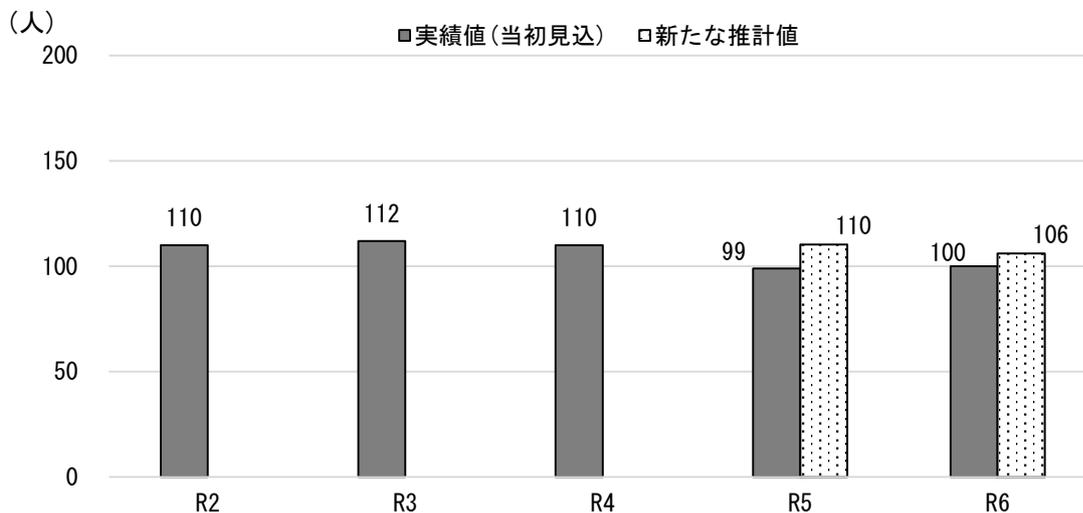
兼城中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより増加して推移すると考えられます。



④高嶺中学校

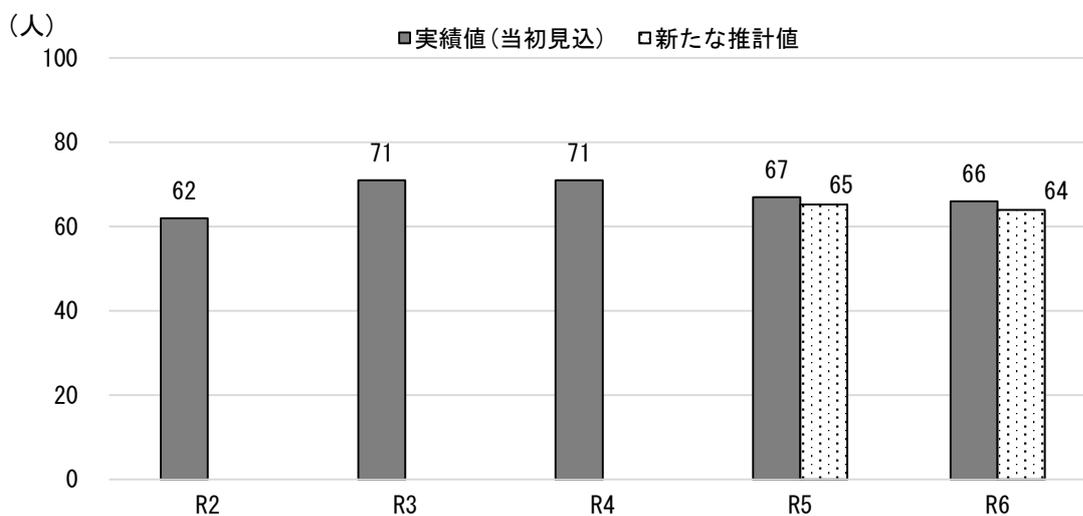
■3-5 歳児童人口推移

高嶺中学校の3-5歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより多少増加して推移すると考えられます。



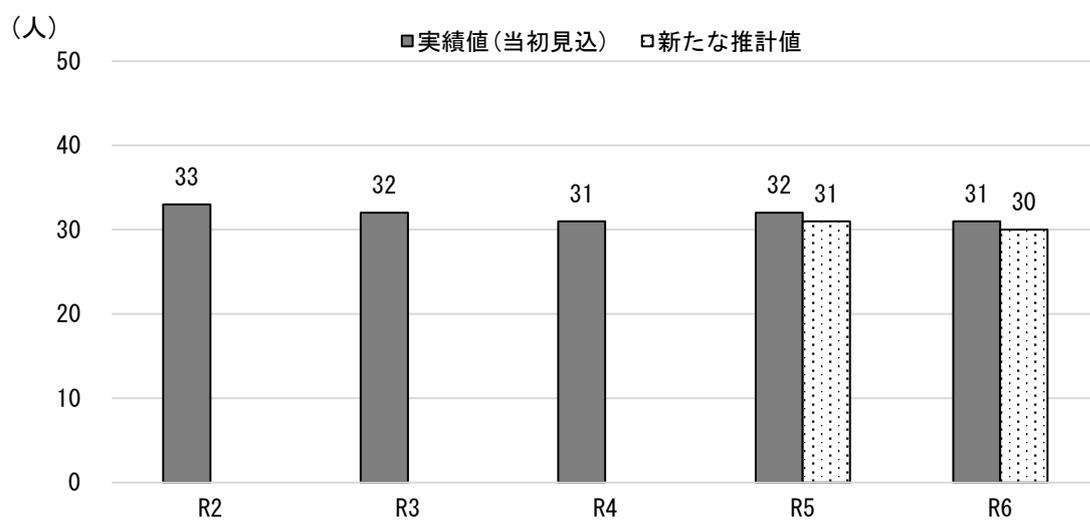
■1-2 歳児童人口推移

高嶺中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより多少減少して推移すると考えられます。



■0歳児童人口推移

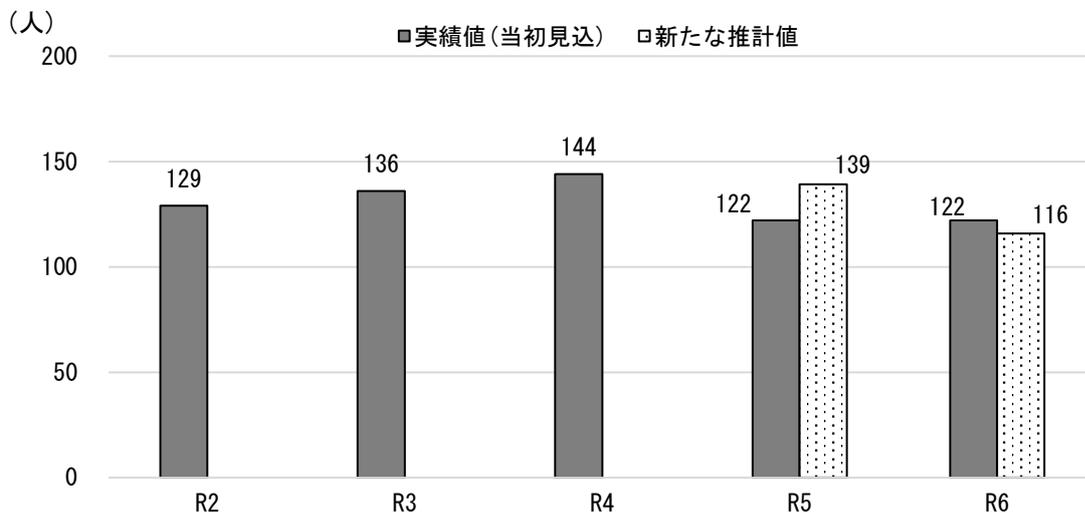
高嶺中学校の0歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みと同程度で推移すると考えられます。



⑤三和中学校

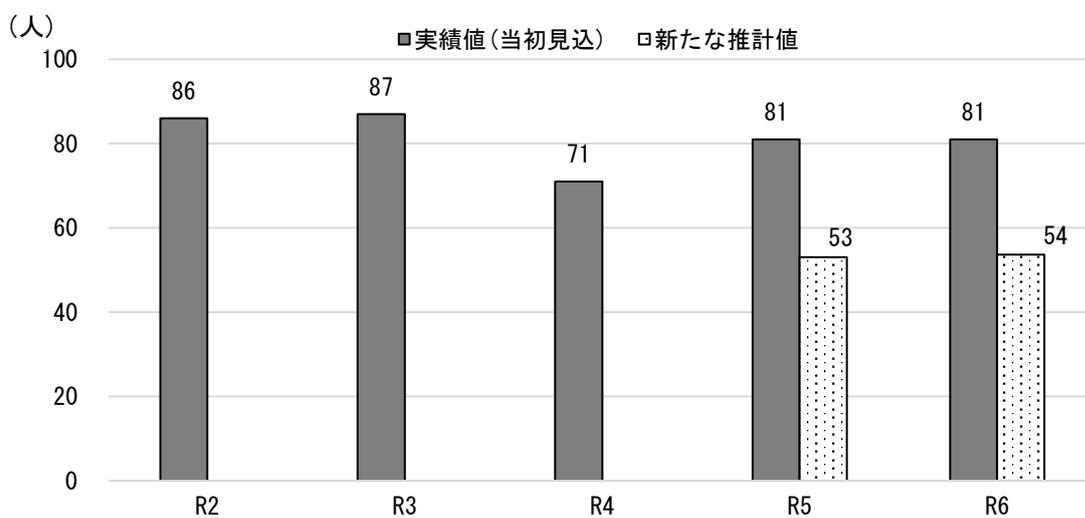
■3-5 歳児童人口推移

三和中学校の3-5歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、令和4年は当初見込みより増加、令和5年は当初見込みより多少減少して推移すると考えられます。



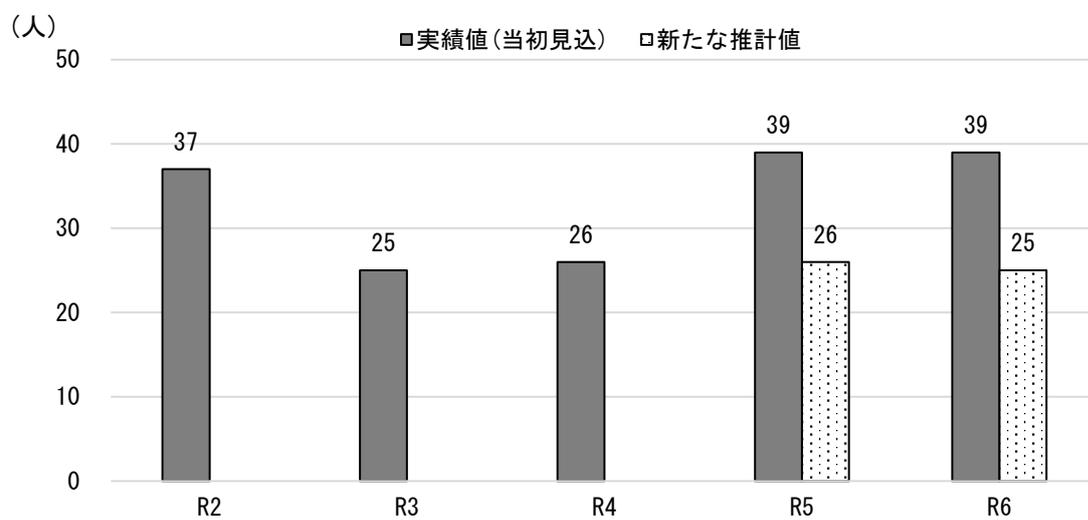
■1-2 歳児童人口推移

三和中学校の1-2歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより減少して推移すると考えられます。



■0歳児童人口推移

三和中学校の0歳児童人口は令和2年から令和4年までの実績値の推移を踏まえ、当初見込みより減少して推移すると考えられます。



6. 教育・保育の量の見込み及び確保方策

(1) 教育・保育提供区域の設定について

①国の方針

国の基本指針では、市町村は地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備状況その他の条件を総合的に勘案し、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（以下「教育・保育提供区域」という。）を定める必要があるとしており、区域ごとに事業の量の見込み（需要量）を算出するとともに、確保方策（事業内容や供給量、実施時期）を示す必要があります。

【国の区域設定における考え】

- ・地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める。
- ・小学校区単位、中学校区単位、行政区単位、地域の実状に応じて、保護者や子どもが居宅から容易に移動することが可能な区域を定める。
- ・地域型保育事業の認可の際に行なわれる需給調整の判断基準となることを踏まえる。
- ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を通じて共通の区域設定とすることが基本となる。
- ・教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の広域利用の実態が異なる場合には、実状に応じて、区分または事業ごとに設定することができる。

②糸満市における教育・保育提供区域の考え方

本市の人口規模や地域資源等を勘案すると、中学校区域を1つのサービス提供区域とすることが利用者及び運営（行政等）側にとって安定的な教育・保育環境の確保につながると考えられるため、本市においては教育・保育提供区域を5区域（中学校区域）と設定します。

なお、平成30年度に実施したニーズ調査より、教育・保育サービスを選ぶ際に重視することについて、教育・保育サービス利用者の中には、居住地区の教育・保育施設ではなく、「施設の質」や「勤務地・通勤に便利な場所」を重視する利用者も多いことから、各確保方策については市全体における需給バランスも考慮します。

③教育・保育の利用希望について(H30 年度ニーズ調査結果)

◆居住地区と希望する教育・保育サービス地区の関係

各小学校区とも、住んでいる地区内でのサービスを希望している比率が最も高くなっているものの、居住地区外の教育・保育サービスの利用を希望されている方もみられます。

<小学校区別 居住地区と希望する教育・保育サービス地区>

区 利用希望地 居住地区	回答者実数	糸満小学校区	糸満南小学校区	西崎小学校区	光洋小学校区	潮平小学校区	兼城小学校区	高嶺小学校区	真壁小学校区	喜屋武小学校区	米須小学校区	市外
糸満小学校区	73	61.6%	12.3%	2.7%	2.7%	1.4%	2.7%	8.2%	0.0%	0.0%	1.4%	6.8%
糸満南小学校区	129	6.2%	81.4%	0.8%	0.8%	2.3%	2.3%	1.6%	0.0%	0.8%	0.0%	3.9%
西崎小学校区	112	6.3%	0.9%	74.1%	6.3%	1.8%	4.5%	1.8%	1.8%	0.0%	0.9%	1.8%
光洋小学校区	80	2.5%	1.3%	6.3%	82.5%	6.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
潮平小学校区	99	1.0%	1.0%	3.0%	5.1%	87.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
兼城小学校区	103	2.9%	1.0%	1.0%	1.9%	1.0%	84.5%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%
高嶺小学校区	36	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	5.6%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
真壁小学校区	15	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
喜屋武小学校区	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%
米須小学校区	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%
合計	671	52.3%	36.1%	21.9%	13.1%	14.9%	32.5%	28.6%	13.3%	2.8%	6.0%	3.6%

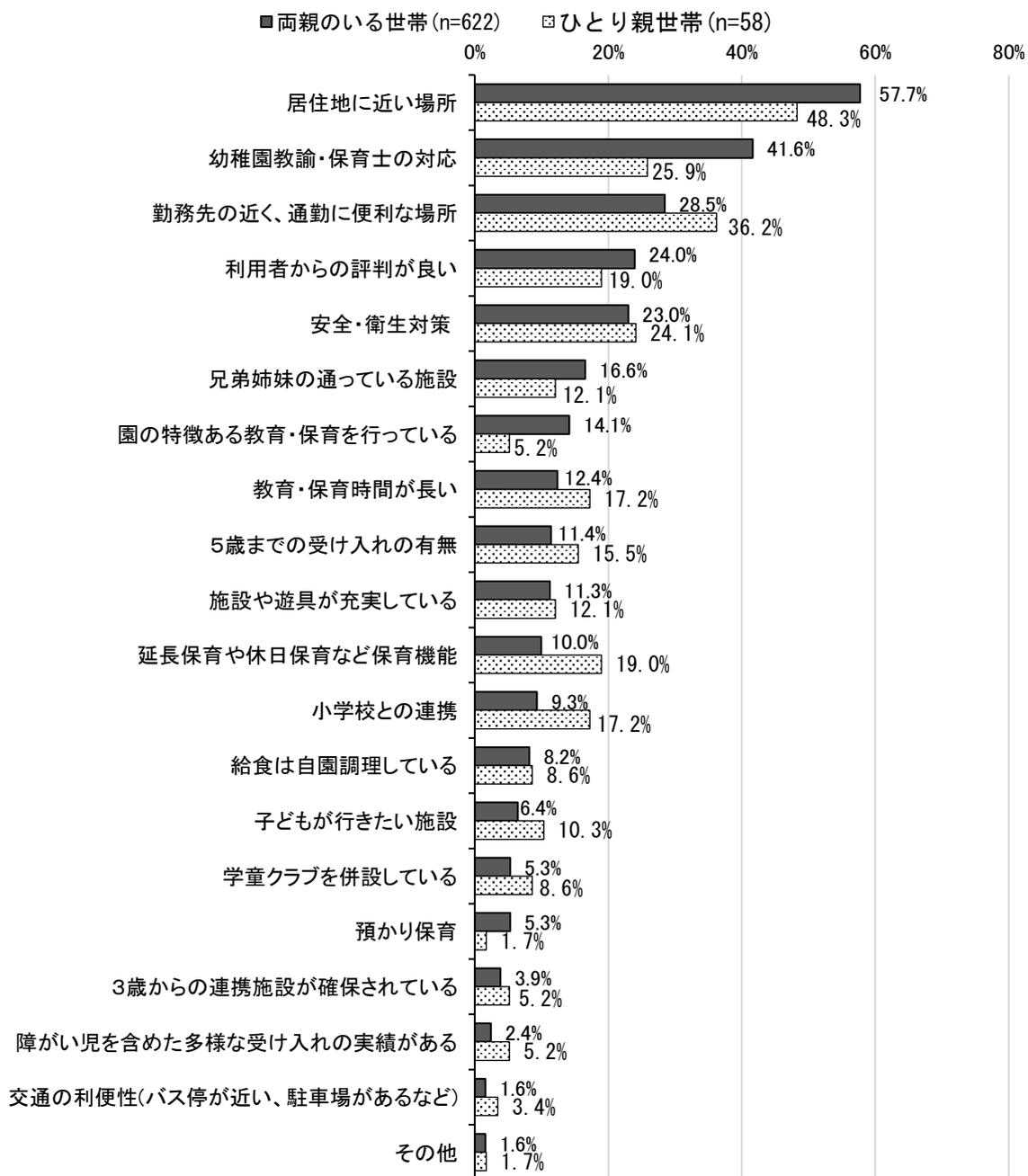
◆教育・保育サービスを選ぶ際に重視すること

教育・保育サービスを選ぶ際に重視することについて、両親のいる世帯では「居住地に近い場所」の割合が最も高く、次いで「幼稚園教諭・保育士の対応」、「勤務先の近く、通勤に便利な場所」と続いています。

ひとり親世帯では、「居住地に近い場所」の割合が最も高く、次いで、「勤務先の近く、通勤に便利な場所」、「幼稚園教諭・保育士の対応」となっています。

また、両親のいる世帯と比較し、ひとり親世帯が重視する項目は「延長保育や休日保育などの保育機能」、「小学校との連携」、「勤務先の近く、通勤に便利な場所」となっています。

教育・保育サービスを選ぶ際に重視すること



(2) 各年度における教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保及びその実施時期

① 1号認定

1号認定(3-5歳)の教育・保育の量の見込みは、西崎・潮平中学校区では、確保量が不足していますが、認定こども園の整備や隣接する中学校区の施設利用を図り、市全体で必要な量を確保します。

区分		R2	R3	R4	R5	R6
市全体	児童人口	2,333	2,267	2,278	2,216	2,168
	量の見込み	550	540	533	385	378
	実績値	452	384	396	—	—
	利用ニーズ	19.4%	16.9%	17.4%	17.4%	17.4%
	確保方策	679	678	604	689	689
糸満 中学校	児童人口	686	685	691	671	653
	量の見込み	157	155	153	102	99
	実績値	132	121	105	—	—
	利用ニーズ	19.2%	17.7%	15.2%	15.2%	15.2%
	確保方策	205	205	189	189	189
西崎・潮平 中学校	児童人口	877	832	816	797	798
	量の見込み	210	208	205	149	150
	実績値	170	151	153	—	—
	利用ニーズ	19.4%	18.1%	18.8%	18.8%	18.8%
	確保方策	161	160	135	135	135
兼城 中学校	児童人口	531	502	517	498	495
	量の見込み	127	124	123	102	102
	実績値	124	89	106	—	—
	利用ニーズ	23.4%	17.7%	20.5%	20.5%	20.5%
	確保方策	191	191	186	271	271
高嶺 中学校	児童人口	110	112	110	110	106
	量の見込み	25	24	24	10	10
	実績値	6	6	10	—	—
	利用ニーズ	5.5%	5.4%	9.1%	9.1%	9.1%
	確保方策	68	68	40	40	40
三和 中学校	児童人口	129	136	144	139	116
	量の見込み	31	29	28	21	18
	実績値	20	17	22	—	—
	利用ニーズ	15.5%	12.5%	15.3%	15.3%	15.3%
	確保方策	54	54	54	54	54

② 2号認定

2号認定(3-5歳)の教育・保育の量の見込みは、糸満中学校区では、確保量が不足していますが、市全体でみると、認定こども園の整備により量の見込みに対し確保量が上回っており、隣接する中学校区の施設利用を図り、市全体で必要な量を確保します。

区分		R2	R3	R4	R5	R6
市全体	児童人口	2,333	2,267	2,278	2,216	2,168
	量の見込み	1,676	1,642	1,621	1,735	1,695
	実績値	1,736	1,756	1,782	—	—
	利用ニーズ	74.4%	77.5%	78.2%	78.2%	78.2%
	確保方策	1,693	1,752	1,860	1,950	1,956
糸満 中学校	児童人口	686	685	691	671	653
	量の見込み	482	472	466	552	537
	実績値	537	549	568	—	—
	利用ニーズ	78.3%	80.1%	82.2%	82.2%	82.2%
	確保方策	388	414	441	441	447
西崎・潮平 中学校	児童人口	877	832	816	797	798
	量の見込み	642	629	621	722	722
	実績値	763	739	739	—	—
	利用ニーズ	87.0%	88.8%	90.6%	90.6%	90.6%
	確保方策	672	674	724	724	724
兼城 中学校	児童人口	531	502	517	498	495
	量の見込み	385	377	372	251	250
	実績値	244	259	261	—	—
	利用ニーズ	46.0%	51.6%	50.5%	50.5%	50.5%
	確保方策	321	352	363	453	453
高嶺 中学校	児童人口	110	112	110	110	106
	量の見込み	75	74	73	85	82
	実績値	85	89	85	—	—
	利用ニーズ	77.3%	79.5%	77.3%	77.3%	77.3%
	確保方策	157	157	177	177	177
三和 中学校	児童人口	129	136	144	139	116
	量の見込み	92	90	89	125	104
	実績値	107	120	129	—	—
	利用ニーズ	82.9%	88.2%	89.6%	89.6%	89.6%
	確保方策	155	155	155	155	155

③3号認定(1-2歳)

3号認定(1-2歳)の教育・保育の量の見込みは、糸満中学校区では、確保量が不足していますが、市全体でみると、認定こども園の整備や公立施設の集約化、小規模保育事業所の整備や既存施設の定員増を図り、隣接する区域の施設利用や保育士確保の取り組みを図りつつ、市全体で必要な量を確保します。

区分		R2	R3	R4	R5	R6
市全体	児童人口	1,472	1,475	1,434	1,406	1,417
	量の見込み	1,081	1,092	1,097	1,049	1,054
	実績値	1,075	1,068	1,076	—	—
	利用ニーズ	73.0%	72.4%	75.0%	74.6%	74.4%
	確保方策	986	1,021	988	1,035	1,060
糸満 中学校	児童人口	439	449	435	413	423
	量の見込み	310	314	315	331	338
	実績値	354	366	348	—	—
	利用ニーズ	80.6%	81.5%	80.0%	80.0%	80.0%
	確保方策	255	274	253	253	266
西崎・潮平 中学校	児童人口	554	544	523	519	509
	量の見込み	414	419	421	433	425
	実績値	458	430	436	—	—
	利用ニーズ	82.7%	79.0%	83.4%	83.4%	83.4%
	確保方策	489	485	453	453	453
兼城 中学校	児童人口	331	324	334	355	367
	量の見込み	248	250	252	195	201
	実績値	155	156	183	—	—
	利用ニーズ	46.8%	48.1%	54.8%	54.8%	54.8%
	確保方策	120	140	157	204	204
高嶺 中学校	児童人口	62	71	71	65	64
	量の見込み	49	49	49	49	48
	実績値	37	48	53	—	—
	利用ニーズ	59.7%	67.6%	74.6%	74.6%	74.6%
	確保方策	59	59	62	62	62
三和 中学校	児童人口	86	87	71	53	54
	量の見込み	60	60	60	42	42
	実績値	71	68	56	—	—
	利用ニーズ	82.6%	78.2%	78.9%	78.9%	78.9%
	確保方策	63	63	63	63	75

④3号認定(0歳)

3号認定(0歳)の教育・保育の量の見込みは、糸満中学校区では、確保量が不足していますが、認定こども園の整備や公立施設の集約化、隣接する中学校区の施設利用を図り、市全体で必要な量を確保します。

区分		R2	R3	R4	R5	R6
市全体	児童人口	712	672	687	680	666
	量の見込み	323	319	318	237	232
	実績値	233	224	239	—	—
	利用ニーズ	32.7%	33.3%	34.8%	34.8%	34.8%
	確保方策	307	314	288	303	321
糸満 中学校	児童人口	224	198	205	203	199
	量の見込み	93	92	91	81	80
	実績値	81	68	82	—	—
	利用ニーズ	36.2%	34.3%	40.0%	40.0%	40.0%
	確保方策	79	77	72	72	78
西崎・潮平 中学校	児童人口	264	259	247	244	239
	量の見込み	124	122	122	87	85
	実績値	96	104	88	—	—
	利用ニーズ	36.4%	40.2%	35.6%	35.6%	35.6%
	確保方策	162	162	141	141	141
兼城 中学校	児童人口	154	158	178	176	173
	量の見込み	73	73	73	43	42
	実績値	38	36	43	—	—
	利用ニーズ	24.7%	22.8%	24.2%	24.2%	24.2%
	確保方策	33	42	42	57	57
高嶺 中学校	児童人口	33	32	31	31	30
	量の見込み	15	14	14	13	13
	実績値	7	11	13	—	—
	利用ニーズ	21.2%	34.4%	41.9%	41.9%	41.9%
	確保方策	21	21	21	21	21
三和 中学校	児童人口	37	25	26	26	25
	量の見込み	18	18	18	13	13
	実績値	11	5	13	—	—
	利用ニーズ	29.7%	20.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	確保方策	12	12	12	12	24

7. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策

(1) 利用者支援事業

令和2年度より「保育こども園課」、「子育て世代包括支援センター」の2カ所にて実施しており、今後も市内2カ所にて子育て家庭のサービス利用支援を行っていきます。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施箇所	2	2	2	2	2
量の見込み	2	2	2	2	2

各年4月1日現在

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施箇所	2	2	2	2	2
量の見込み	2	2	2	2	2

各年4月1日現在

(2) 地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業で、現在、市内3箇所（「ぬくぬく」、「まかべ」、「ぽかぽか」）にて実施しています。

令和元年以降、新型コロナウイルス感染症拡大による影響により延べ利用者人数が減少したものの、今後も市内3箇所（「ぬくぬく」、「まかべ」、「ぽかぽか」）にて事業を実施していきます。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	延べ利用人数	32,464	32,567	32,626	32,375	32,050
	実施箇所	3	3	3	3	3
確保方策	延べ利用人数	32,464	32,567	32,626	32,375	32,050
	実施箇所	3	3	3	3	3

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区分		実績			中間見直し	
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	延べ利用人数	10,069	4,817		32,375	32,050
	実施箇所	3	3		3	3
確保方策	延べ利用人数	10,069	4,817		32,375	32,050
	実施箇所	3	3		3	3

※量の見込みについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大きく増減するため、計画策定時の量の見込みを記載している。

(3) 妊婦健康診査

母子の健康管理と保健指導により安心して出産を迎えられるようこれまでの通り、対象となる全ての家庭を対象に、事業を実施します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人回】	10,150	10,052	9,996	9,912	9,744
確保方策	10,150	10,052	9,996	9,912	9,744

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人回】	9,125	7,799		8,160	7,992
確保方策	9,125	7,799		8,160	7,992

※量の見込みについては、0歳推計児童数(人)×12(回)とした。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

支援が必要な家庭の適切な養育の確保のため、これまでの通り、対象となる全ての家庭を対象に、事業を実施します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	725	718	714	708	696
確保方策	725	718	714	708	696

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	597	605		680	666
確保方策	597	605		680	666

※量の見込みについては、0歳推計児童数とした。

(5) 養育支援訪問事業

今後も、対象となる全ての家庭を対象に、事業を実施します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	254	251	250	248	244
確保方策【人】	254	251	250	248	244

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	15	8		15	15
確保方策【人】	15	8		15	15

※量の見込みについては、実績最大値を採用した。

(6) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

令和3年度まで本事業は未実施でしたが、令和5年3月より実施予定です。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	18	18	18	18	18
確保方策【人日】	0	0	0	0	0

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	0	0		18	18
確保方策【人日】	0	0		18	18

※量の見込みについては、計画策定時の量の見込みを記載している。

(7) ファミリー・サポート・センター事業（就学児）

令和2年以降の利用人数の増加は、令和2年3月全国小中学校、高校、特別支援学校への一斉休校要請による影響があると考えられます。

今後の量の見込みについても、新型コロナウイルス感染症の動向により大きく左右されることが想定されるが、ファミリー・サポート・センターと連携し、量の見込みに対応します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	250	250	250	250	250
確保方策【人日】	250	250	250	250	250

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	254	504		250	250
確保方策【人日】	254	504		250	250

※量の見込みについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大きく増減するため、計画策定時の量の見込みを記載している。

(8) 一時預かり事業

計画策定時の量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、在園児対応型及び上記以外について、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

量の見込みが実績値を大きく上回っている理由として、「在園児対応型」は、各園の自主事業で実施しており、「一時預かり事業」の実績としては計上されないものの、実際の利用実績はあります。

「上記以外」については、新型コロナウイルス感染症拡大の動向により、利用が大きく減少していると考えられます。

新たな量の見込み算出にあたっては、今後、就学前児童数が減少傾向で推移することを考慮し、当初計画を踏襲します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	在園児対応型	6,737	6,600	6,517	6,257	6,340
	上記以外	1,385	1,390	1,392	1,382	1,368
確保方策【人日】	在園児対応型	6,737	6,600	6,517	6,257	6,340
	上記以外	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	在園児対応型	0	0	6,257	6,340
	上記以外	513	580	1,382	1,368
確保方策【人日】	在園児対応型	0	0	6,257	6,340
	上記以外	513	580	1,600	1,700

※量の見込みについては、実績値(最大値)を量の見込みを記載している。

(9) 延長保育事業

量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

新たな量の見込み算出にあたっては、今後、就学前児童数が減少傾向で推移することを考慮し、過去最大値を量の見込みとして設定しています。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	908	900	895	877	874
確保方策【人】	908	900	895	877	874

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	914	838		914	914
確保方策【人】	914	838		914	914

※量の見込みについては、実績値(最大値)を量の見込みを記載している。

(10) 病児・病後児保育事業

量の見込みは、ニーズ調査結果より算出しており、量の見込みが実績値を大きく上回っています。

令和2年の利用人数が少ない要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大により1施設が事業休止したことが挙げられます。

新たな量の見込み算出にあたっては、今後、就学前児童数が減少傾向で推移することや新型コロナウイルス感染症の拡大前の実績値(H29:532、H30:532、H31、389)の最大値を量の見込みとして設定しています。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	1,430	1,417	1,409	1,382	1,377
確保方策【人日】	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人日】	96	175		532	532
確保方策【人日】	96	175		532	532

※量の見込みについては、実績値(最大値)を量の見込みを記載している。

(11) 放課後児童健全育成事業

共働き世帯の増加等により、特に低学年を中心として利用人数が増加していますが、定員増加等により、量の見込みを確保方策が上回っています。

新たな量の見込み算出にあたっては、今後、就学前児童数が減少傾向で推移することを考慮し過去実績の最大値を量の見込みとして設定しています。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	832	831	819	831	807
確保方策【人】	840	840	920	920	920

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実 績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【人】	818	868	888	888	888
確保方策【人】	806	824	839	920	920

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

各施設事業者において実費徴収を行うことが出来ることとされている「食事の提供に要する費用」及び「日用品、文房具等の購入に要する費用」等について、低所得世帯を対象に費用の一部を補助する事業です。

※第2期計画では量の見込みを設定おらず、中間見直しにおいても設定しません。

(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

今後も、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制を確保します。

【計画策定時】量の見込み及び確保方策

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【箇所】	5	5	5	5	5
確保方策【箇所】	5	5	5	5	5

【中間見直し】量の見込み及び確保方策

区 分	実 績			中間見直し	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
量の見込み【箇所】	2	2		5	5
確保方策【箇所】	2	2		5	5

8. 次世代育成支援対策行動計画の見直し・追加

(1) 第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画の施策体系

第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画の次世代育成支援対策行動計画の施策体系は以下に示す通りです。中間見直しでは、施策目標値の変更及び追加施策の2点について、新たに記載します。

糸満市子ども・子育て支援事業計画の施策体系

基本理念	めざす子ども像	基本目標	施策の方向性
<p>地域みんながつながり、「夢と希望」に向かって輝ける子どもを紡ぎ育てる史都 糸満</p>	<p>元気に遊び、こころもからだもイキイキと輝く糸満っ子</p>	<p>1. 子どもの育ちを保障する教育・保育・子育て支援の質の向上と体制の整備</p>	<p>【施策方向性1】母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進 ②妊産婦・乳幼児への保健対策 ③学童期・思春期から成人期に向けた保健対策 ④「食育」の推進 ⑤子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり ⑥小児医療の充実 <p>【施策方向性2】子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次世代の親の育成 ②子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境の整備 ③家庭や地域の教育力の向上
		<p>2. 子どもが健やかに育ち、安心して子育てが行える環境の整備充実</p>	<p>【施策方向性3】子育てを支援する生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①良質な住環境の確保 ②安全な道路交通環境の整備 ③安心して外出できる環境の整備 <p>【施策方向性4】職業生活と家庭生活との両立の推進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し
		<p>3. 特別な支援が必要な子どもと家庭の支援</p>	<p>【施策方向性5】要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①きめ細やかな対応が必要な児童への支援 ②ひとり親家庭の自立支援の推進 ③障がい児施策の充実 ④子どもの貧困対策の充実
		<p>4. すべての家庭のニーズに対応した教育・保育と子育て支援環境の整備</p>	<p>【施策方向性6】地域における子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域における子育て支援サービスの充実 ②保育サービスの充実 ③子育て支援のネットワークづくり ④子どもの健全育成 ⑤地域における人材育成

(2) 次世代育成支援対策行動計画の見直し・追加箇所

①目標値の変更

第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画(P73)、具体的事業 N043

【計画策定時】

No.	取り組み・担当課	内容		
43	男性の育児休業取得促進 (人事課) (健康推進課)	共働きが珍しくない沖縄県において、女性たちの「仕事・家事・育児・介護」という過重負担は、男性の長時間労働とも関連します。本市ではワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)をベースとした「働く男(ひと)と女(ひと)、働きたい女性への支援」を中心に据えた事業の展開の1つとして、男性の子育ての参加を促進します。		
		指標	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)
		市男性職員の育児休業取得促進	1人	2人以上

【中間見直し】

No.	取り組み・担当課	内容		
43	男性の育児休業取得促進 (人事課) (健康推進課)	共働きが珍しくない沖縄県において、女性たちの「仕事・家事・育児・介護」という過重負担は、男性の長時間労働とも関連します。 本市ではワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)をベースとした「働く男(ひと)と女(ひと)、働きたい女性への支援」を中心に据えた事業の展開の1つとして、男性の子育ての参加を促進します。		
		指標	現状(令和3年度)	目標(令和6年度)
		育児休業取得人数から当該年度に新たに育児休業が取得可能となった職員に対する取得割合に変更目標	13% (3人/23人)	15%

【参考】女性の育児休業取得率 100%(R3年度)

②施策の追加

第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画(P78)、具体的事業 N049 の次に追加

No.	取り組み・担当課	内容		
49 ②	ヤングケアラーへの支援 (こども未来課) (学校教育課)	<p>一般に本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーについて理解を深め、多職種が連携して対応ができるよう、研修を実施します。</p> <p>また、学校においてヤングケアラーを発見した上で適切な支援につなげることができるよう、ヤングケアラー・コーディネーターの配置を進めます。</p>		
		指標	現状(令和4年度)	目標(令和6年度)
		研修会の開催回数※	7回/年	3回/年
		ヤングケアラー・コーディネーターの配置	0人	2人

※令和4年度はヤングケアラーの取組み初年度のため、研修の開催回数が多くなっているが、今後も継続的に実施する。

第2期糸満市

子ども・子育て支援事業計画の中間見直し

発 行 糸満市

沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番地

編 集 糸満市 こども未来部 こども未来課